

平成 28 年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価の結果に関する報告書

(平成 27 年度施策・実施事業分)

平成 29 年 2 月

宇陀市教育委員会

はじめに

宇陀市教育委員会は、教育行政の充実を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、平成 27 年度に執行した教育委員会の主な事務事業を宇陀市総合計画に基づく基本計画の項目毎に分類し、目標の達成状況及び進捗状況について宇陀市教育行政点検評価支援員の意見を踏まえながら点検・評価を行い、本報告書をまとめました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

宇陀市教育委員会

教育長 福田 裕光

委員 寺澤 亮一

委員 岡本 憲明

委員 巽 礼子

委員 吉川 壽一

1 施策・事業点検及び評価の実施概要

宇陀市教育委員会は、「宇陀市総合計画」はもとより、年度ごとの「学校教育の指導方針」、「生涯学習の振興指針」並びに「人権教育についての基本方針」等に基づき、社会環境や財政状況に弾力的に対応した施策・事業を遂行しています。その具体的取組に関して目標達成状況を踏まえた点検・評価を行いました。

今回の点検・評価の対象は平成 27 年度に実施したうちの主な施策・事務事業です。

2 宇陀市教育行政点検評価支援員

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条第 2 項に規定する教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会自らが点検・評価をした結果について、学識経験者 2 人に点検評価支援員を委嘱して教育面での効率性・有効性の観点から改善点などについてご意見をいただきました。

施策・事業を見直す上で、点検評価支援員の市民の視点に考慮した指摘を真摯に受け止め、職員の意識改革につなげ、総合的かつ客観的に捉え、新たな進展を目指すものです。

■支援員の氏名（敬称略）

高野 精介 氏（宇陀市在住）

西岡 保千代 氏（宇陀市在住）

■点検評価支援員と教育委員会事務局職員による会議開催

平成 28 年 10 月 12 日（水） 午前 9 時～午後 5 時

〔教育委員会活動・学校教育等の概略説明と質疑応答、点検評価支援員からの総括的な意見〕

3 教育委員会の主な運営・活動状況

宇陀市では、平成 27 年 4 月 1 日から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、新教育委員会制度へ移行いたしました。

総合教育会議において、宇陀市の目指すべき教育を「宇陀市教育大綱」としてまとめ、この大綱に基づく 4 つの基本目標とそれらを推進するための 5 つの基本方針に沿った課題に、平成 28 年度から 4 年を目途に取り組んでまいります。

平成 27 年度も、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 21 条及び第 1 条の 4 に基づき、次に掲げる教育に関する事務を管理し、執行いたしました。

- ・教育委員会議
- ・総合教育会議
- ・教育方針及び教育計画の策定
- ・教育に係る調査及び統計
- ・学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止
- ・事務局及び教育機関の職員の人事
- ・児童生徒の就学
- ・学校の組織編制、教育課程、学習指導
- ・教科書その他の教材の取扱い
- ・事務局及び教育機関の職員の服務及び研修
- ・学校施設及び設備の整備
- ・教職員に対する指導助言
- ・学校保健
- ・学校給食
- ・生涯学習の振興に係る施設の企画及び調整
- ・社会教育の基本計画及び総合調整
- ・社会教育に関する施設の設置及び管理
- ・社会教育団体の指導育成
- ・家庭教育、青少年教育、成人教育及び公民館事業
- ・文化及び芸能の振興
- ・スポーツ・レクリエーションの指導奨励
- ・文化財の保護、活用及び啓発
- ・文化財の指定、調査、研究、記録及び資料の作成 等

◆総合教育会議の開催

総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の四に基づき、5回開催されました。

■第1回宇陀市総合教育会議（平成27年6月18日）

- ・宇陀市総合教育会議運営要綱案及び傍聴要領案について
- ・大綱案の作成について

■第2回宇陀市総合教育会議（平成27年10月8日）

- ・宇陀市教育大綱素案作成について

■第3階宇陀市総合教育会議（平成27年11月11日）

- ・宇陀市教育大綱素案作成について

■第4回宇陀市総合教育会議（平成28年1月22日）

- ・宇陀市教育大綱案について
- ・宇陀市教育大綱案に関する市民への意見聴取について

■第5回宇陀市総合教育会議（平成28年3月16日）

- ・宇陀市教育大綱の策定について
- ・宇陀市教育大綱の公表方法等について

◆教育委員会会議の開催

教育委員会会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条及び「宇陀市教育委員会会議規則」に基づき、平成27年度は定例会11回と臨時会を5回、合計16回の会議を開催しました。

会議では、施策に関して真剣に議論を交わし、事務局と連携して施策を推進しています。会議は原則公開しています。平成27年度の傍聴者は13名でした。

また、会議終了後に、複雑化する多様な教育課題や、子どもを取り巻く諸問題について意見交換や、議論を交わし、理解を深めています。

◆教育委員会審議案件等の実績

教育委員会会議では「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「宇陀市教育長に対する事務委任規則」の規定に基づき、種々の案件について十分な議論、審議をしました。

さらに各担当課から所管する事務について詳細な報告や協議を行うことで、教育委員会と事務局が同一の施策の方針のもとで、一層事業が充実、推進されたと考えています。

<平成27年度の審議案件>

■4月臨時教育委員会（4月7日）

- ・教育長の職務を代理する委員の指名について

■4月臨時教育委員会（4月16日）

審議案件なし・協議事項・報告事項のみ

■4月定例教育委員会（4月28日）

- ・宇陀市スポーツ推進委員の委嘱について

■5月定例教育委員会（5月26日）

- ・平成27年度宇陀市教科用図書選定委員会委員の任命並びに平成27年度中学校教科用図書選定に係る諮問について
- ・平成27年度宇陀市教科用図書選定委員会調査研究員の任命について

■6月定例教育委員会（6月26日）

- ・宇陀市学校教育振興事業補助金交付要綱の制定について
- ・宇陀市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
- ・オオサンショウウオ調査指導委員会設置要綱の制定について

- ・ 史跡森野旧薬園保存管理計画策定委員会設置要綱について
- 7月定例教育委員会（7月29日）
 - ・ 宇陀市学校教育振興事業補助金交付要綱の制定について
 - ・ オオサンショウウオ調査指導委員会設置要綱の制定について
 - ・ 史跡森野旧薬園保存管理計画策定委員会設置要綱制定について
- 8月臨時教育委員会（8月21日）
 - ・ 平成28年度使用中学校教科用図書採択について
- 8月定例教育委員会（8月21日）
 - ・ 平成27年度宇陀市教育行政点検評価支援員の選任について
 - ・ オオサンショウウオ調査指導委員会委員の委嘱について
 - ・ 史跡森野旧薬園保存管理計画策定委員会委員の委嘱について
 - ・ 宇陀市立学校給食センター運営協議会規則の一部改正について
- 9月定例教育委員会（10月8日）
 - ・ 平成27年度就学指導委員会結果の答申について
- 11月定例教育委員会（11月25日）
 - ・ 宇陀市立学校設置条例の一部改正について
 - ・ 宇陀市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
 - ・ 宇陀市社会体育施設条例の一部改正について
- 12月臨時教育委員会（12月8日）

審議案件なし・協議事項・報告事項のみ
- 12月定例教育委員会（12月22日）
 - ・ 宇陀市就学援助に関する要綱の一部改正について
- 1月定例教育委員会（1月22日）

審議案件なし・協議事項・報告事項のみ
- 2月定例教育委員会（2月22日）
 - ・ 宇陀市立学校の「指定校の変更」及び「区域外就学」に関する要綱の制定について
 - ・ 宇陀市文化財の指定解除について
 - ・ 宇陀市学校給食費徴収規則の一部改正について
 - ・ 宇陀市立学校給食センター給食用物資納入者登録規程の一部改正について
- 3月臨時教育委員会（3月16日）
 - ・ 平成28年度県教職員人事異動の内申について
- 3月定例教育委員会（3月28日）
 - ・ 宇陀市就学援助に関する要綱の一部改正について
 - ・ 社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について
 - ・ スポーツ推進委員の委嘱について

◆教育委員会会議以外の活動

[学校訪問]

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 21 条の規定に基づき、5 月から 6 月にかけて小学校 7 校、中学校 4 校、幼稚園 5 園そして保育所 4 所を訪問しました。

学校長等から、今年度の学校経営の重点項目、教育課程の特色、今年度の創意工夫の点などについて説明を受け、その後、「学校教育法施行規則」及び「宇陀市学校管理運営規則」に基づく次に示す各種表簿を点検しました。

<各種表簿>

学校日誌・出勤簿・旅行命令簿・教育計画書（教育課程）
指導要録・健康診断に関する表簿・薬品管理簿等

学校施設・設備の視察・点検を行い、児童・生徒等の学習・授業の様子を参観しました。

その後、改善点について意見交換を行うとともに、教育の課題を探り、学校長等に対し指導・助言を行いました。

また、入学式、卒業式、体育大会等学校行事への参加を通じて、児童・生徒の活動状況を参観しました。

奈良県教育委員会が定める「学校教育の指導方針」ならびに「宇陀市学校教育の指導方針」に添った教育がなされているか、教育委員、教育長、指導主事及び事務局職員、さらに県教育委員会事務局教職員課の管理主事も加わり、次に示す観点で実態を調査しました。

<実態把握の観点>

県及び市の学校教育に関する方針に添った重点施策
学校の経営方針・教育課程（教育方針と重点指導）
特別支援教育・道徳・人権教育・生徒指導・研究主題
職員研修・児童生徒の安全確保と危機管理・評価の実施と公開
家庭や地域との連携等

[宇陀市学校アドバイザーチーム学校訪問]

学校は、教育活動を通して児童・生徒の豊かな人間形成を図るため、質の高い教育を提供する責務があり、活力ある組織としての総合力を発揮することが求められています。そのため、学校経営、教育活動について絶え

ず見直し、学校改善（学校経営改善、授業改善）を図ることが重要な課題となっています。

そこで、宇陀市教育委員会として、単に学校改善を求めるだけでなく、改善の方向性や具体的方策を示すため、学校アドバイザーチームを設置し、各学校を計画的に訪問して、市内小中学校の学校改善に役立てます。

平成 27 年度は市内小学校 3 校、中学校 1 校を訪問しました。

◇宇陀市立榛原西小学校 平成 27 年 10 月 20 日

◇宇陀市立室生中学校 平成 27 年 11 月 4 日

◇宇陀市立室生東小学校 平成 27 年 11 月 5 日

◇宇陀市立大宇陀小学校 平成 27 年 11 月 20 日

[教育委員・教育長研修等]

◇奈良県都市教育長協議会 平成 27 年 4 月 13 日（橿原市）
平成 27 年 7 月 24 日（〃）
平成 27 年 10 月 16 日（〃）
平成 28 年 2 月 24 日（〃）

◇近畿都市教育長協議会定期総会 平成 27 年 4 月 23 日～24 日
（京都府京都市・城陽市）
〃 研究協議会 平成 27 年 10 月 29 日～30 日
（京都府宮津市）

◇全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会
平成 27 年 5 月 21 日～22 日
（神奈川県厚木市）

◇奈良県市町村教育委員会連合会会議
平成 27 年 5 月 1 日（奈良市）

◇近畿市町村教育委員研修大会 平成 27 年 10 月 13 日
（京都府京都市）

◇奈良県市町村教育委員研修会 平成 27 年 11 月 26 日（五條市）

以上の研修を通じて自己研鑽に努めるとともに、教育事情調査や教育相

談等の日常活動に努めています。

4 各施策・事業の取組状況と支援員の意見

各施策・事業点検評価シートは、「宇陀市総合計画に基づく基本計画」にそ
って、項目ごとに主な施策・事業を点検し、評価した結果です。

シート中の『達成度』『必要性』『有効性』とは、教育委員会が次の基準によ
り判断したものです。

- | | | |
|---|------|----------------------------|
| A | 高い | (概ね期待通りの成果が上がり、目標を達成できた。) |
| B | やや高い | (ほぼ目標を達成したが、改善の余地がある。) |
| C | やや低い | (目標をあまり達成できなかったので、改善を要する。) |
| D | 低い | (目標を達成できなかった。) |

また、『点検評価支援員による総合評価』『今後の方針』については、それぞ
れの欄外に評価項目を5段階評価とし、※印で示しています。

施策・事業の点検・評価 一覧

宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業		自己評価			総合評価
		達成度	必要性	有効性	
◆学校教育内容の充実					
1	安全・安心メール配信システム運営事業	A	A	A	2
2	教育センター事業				
	(1) 適応指導教室「はばたき」	A	A	A	1
	(2) 通級指導教室「ほほえみ」	A	A	A	1
3	小中学生基礎学力向上事業	B	A	A	1
4	教育相談事業	A	A	A	2
5	外国語活動指導助手設置事業	A	A	A	2
◆学校教育環境の充実					
6	教育施設の耐震化				
	(1) 教育施設の耐震化(小学校)	B	A	A	2
	(2) 教育施設の耐震化(中学校)	B	A	A	2
7	ぬくもり修学奨励資金支給事業	A	A	B	1
8	学校給食賄材料購入事業	A	A	A	2
◆地域の教育力の醸成					
9	子ども活動支援事業	B	A	A	1
10	青少年育成支援事業	B	A	B	1
11	子どもフェスタ事業	A	A	A	1
◆生涯学習機会の充実					
12	市美術展事業	B	A	A	1
13	公民館管理運営事業	B	B	B	2
14	地域公民館活動支援事業	B	B	B	5
15	各種講座・教室事業	B	B	B	1
16	図書館機能充実事業	B	A	B	1
17	図書返却ポスト事業	B	A	B	1
18	寄贈資料の管理運営事業	A	A	B	2
◆生涯スポーツ活動の支援					
19	宇陀シティマラソン事業	A	A	A	1
20	大人のための運動教室事業	B	A	A	1
21	小学校水泳教室事業	B	A	A	1
22	水泳教室事業	B	A	A	1
23	宇陀市小学校対抗子ども駅伝大会事業	A	A	A	1
24	全校高等学校総合体育事業(空手道)	A	A	A	5
25	近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部	A	A	A	1
◆スポーツ環境の充実					
26	市民スポーツ大会事業	B	A	A	1
27	総合体育館・総合運動場運営事業	B	B	B	2
28	室内温水プール及びテニスコート管理運営事業	B	B	B	2
◆歴史・文化資源の保全と活用					
29	文化財保存修理等補助事業	A	A	A	2
30	薬の館管理運営事業	A	A	A	2
31	重要伝統的建造物群保存地区保存事業	A	A	A	2
32	埋蔵文化財発掘調査事業	A	A	A	2
33	国重要文化財・片岡家文書調査事業	A	A	A	2
34	街なみ環境整備事業	A	A	A	2
35	史跡宇陀松山城跡保存整備事業	A	A	A	1
36	史跡森野旧薬園保護事業	A	A	A	2
37	国指定天然記念物等保護再生事業	A	A	A	1

自己評価 「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 安全・安心メール配信システム運営事業			所管課	教育総務課
事業の概要	<p>保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援センターの保護者を対象として、学校等からの様々な連絡や緊急時の安否確認等、双方向の連絡等が行えるメール配信システム。</p> <p>このシステムの特徴は、一方的に送信するだけでなく、回答機能を装備していることにより、各種アンケートや会議の出欠等、迅速かつ的確な集計等が行えることである。</p> <p>また、気象庁と連携していることから気象警報発令時には即座に気象メールが配信され、地震等の緊急時にも安否確認が自動的に発信される。</p>				
目標・実績	<p>保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・学童保育室・子育て支援センターの保護者及び教職員、教育委員会事務局職員が登録し、メール配信システムを構築することによって、緊急時の情報伝達が一斉にできることに加え、情報を共有することができる。それが子どもたちの生活の安全安心につながる。</p> <p>9割を超える登録があり、学校行事、気象警報時、感染症対策等の連絡手段として非常に効果を発揮した。</p>				
教育委員会自己評価の	成果と課題				
	幼稚園・保育所・小学校・中学校・子育て支援センター・学童保育室の職員及び児童・生徒の保護者並びに教育委員会事務局職員等の93.57%が登録済み。				
	達成度	A	必要性	A	有効性
	評価理由		評価理由		評価理由
	システムの利便性が利用者に評価され、登録率は増加している。		必要な情報を、正確かつ迅速に登録者へ伝達することができる。		このシステムを活用することにより、正確かつ迅速な情報伝達が行えることから、緊急時の活用も含めて有効な情報伝達手段のひとつである。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の評価員から	<p>ICT社会の広がりとともに、緊急時に正確かつ迅速な情報伝達が行えるこのシステムの有効性は大きい認められるが、個人情報保護の観点からも、発信によるトラブルが生じないよう、運用には細心の配慮をされたい。</p> <p>登録率に関しては、それぞれ個人の考えにも配慮し、各現場と保護者等がさらに理解を深めた上での増加を進められたい。</p>	点検評価支援員による総合評価 【 2 】
----------	---	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>携帯端末の利用者が増加を続ける社会状況の中、メール配信システムの登録者は増加し、保護者に対するサービスが浸透してきた。今後もシステムのセキュリティーに注意しつつ、防犯・災害に活用することに加え、学校独自の情報伝達を工夫し、より充実したサービスを目指す。</p>	事業の総合評価 【 2 】
-------	---	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 教育センター事業(適応指導教室 はばたき)		所管課	教育総務課
事業の概要	市内小中学校の不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲化を図る。また、不登校児童生徒等に対する相談を保護者、教職員に対しても行う。			
目標・実績	適応指導教室に来室することで、心の居場所ができ、学習機会を確保することや、不登校の状態にある児童・生徒の学校への復帰を促す。また、学校と連携を深め、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲を高める。			
教育自己 委員会 評価 の	成果と課題 平成27年度は3名の正式通室生徒がおり、週2日2名の指導員が相談・指導、学校との連携・調整を行っている。また今年度から教員資格を持った補助員を採用し、学習指導を行い、1名が在籍校へ全復帰、2名が部分復帰した。3名とも4月から高校への通学が決定した。しかし、通室しているのは不登校児童・生徒の一部であり、まだ多くの不登校の子どもたちがおり、その子どもたちの居場所づくりが課題である。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A		
	評価理由 正式通室者が3名、うち1名が在籍校に全復帰、2名が部分復帰。保護者や教職員へのこの教室の存在が浸透しつつある。	評価理由 長期欠席をしている児童生徒に、学校教員だけの対応では十分とはいえない状況や、学校に拒否感のある児童生徒に対する受け入れ態勢が必要である。きっかけづくりの一步としての窓口。	評価理由 通室者を自然に受け入れ、落ち着ける場所、自分を理解してくれる場所となっている。また通室者で卒業、高校入学者、学校に復帰できた生徒もいた。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 主なる 評価 意見 から	<p>今日的な子どもの貧困や、少子化であるのに人間関係が上手くいかず、傷つきがちなことが不登校児童生徒の増加要因の一つに挙げられている。不登校児童等への対応には、専門性が必要であり、また、時間がかかるなど学校の教職員だけ対応するには限界がある。市として教室を設置することにより該当児童生徒や保護者にとって心の居場所となり、教職員にとっては相談できる窓口となる。この教室の存在意義が広く認められるよう、教育関係以外にも周知を図る必要がある。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
------------------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の 方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>27年度は、1名が在籍校へ復帰、2名が在籍校へ登校する成果を上げた。平成28年度は通室者が1名という状況だが、まだまだ不登校児童生徒の一部である。今後も家庭に閉じこもった児童生徒や別室登校生が通室することによって、在籍校へ復帰することを目指す。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-----------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 教育センター事業(通級指導教室 ほほえみ)	所管課	教育総務課
-----	---	-----	-------

事業の概要	小学校の通常の学級に在籍しているが、特別な教育的支援を必要としている子どもたちへ、担任以外の教育専門員によりそれぞれの子どもの実態に応じて通級による指導を行う。保護者、教職員、児童に対しても相談業務を行う。
-------	---

目標・実績	言葉の発達などの問題のため、本来もっている能力を十分に発揮しきれない児童に対し、個々に応じた指導を行い、生き生きと、スムーズに学校生活や社会生活をおくれるように支援する。通級指導児童が25名になり、定期的な指導相談ができています。教職員の相談や指導参観、教育相談も増えている。平成27年度より小学生のみ対象とした結果、相談件数29件、のべ相談回数53回となった。
-------	---

教育自己 委員会 の 評価	成果と課題						
	言葉や発達についての相談に対して需要が高く、相談を望む声が多く相談回数が増加している。今後も増加していく傾向にあると思われるため継続的な相談指導が必要である。また、家庭から出て、集団の場に入ることにより、社会性やコミュニケーションについて苦戦することがわかり、相談に来られるケースが多く、指導員による適切な指導を図っている。						
	達成度	A		必要性	A		
	評価理由	通級指導が必要な子どもたちが定期的に通級指導を受けることによって、コミュニケーション能力を身につけ上級学校への移行がスムーズになった。		評価理由	言葉やコミュニケーション、社会性に困難を抱えている子どもたちが増えたので、学童期での早期対応、早期療育をすることが必要。		
			有効性	A		評価理由	職員が言葉の専門家であるので、教職員と連携し、言葉の訓練を早くから行うことにより状態が改善されることが多い。特に学童期での関わりが重要であり、教職員や保護者への指導が有効。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の 主なる 意見 から	<p>集団生活の中では、本来持っている能力をうまく発揮できずに、適応障害を起こしてしまう子どもたちが多くいる。この教室があることで、そのような子どもたちが抱えている課題を早期に発見し、支援することができる。その結果、元気に学校生活が送れるようになってくる。</p> <p>専門家による相談へのニーズは多く、保護者や教職員への適切な助言が行われているので、市としても教室の必要性を認め、人員の確保などその拡充を図りたい。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>通常学級に在籍する特別支援が必要な児童に応じた教育環境を確保するために必要な事業であり、今後も継続する必要がある。対象児童が年々増加してきており、適切な支援講師の確保が必要である。そのため関係者の連携を強化し、サポート体制の構築に努め、人材確保など国、県などに対する要望等広域的な取り組みを行う。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 小中学生基礎学力向上事業		所管課	教育総務課	
事業の概要	小中学生の基礎学力向上を図るため、市教育委員会では、『基礎学力を大切に「生きる力」と「夢」を育む教育の実現』をスローガンとして「学びの広場UDAプラン」事業として、市の教育の諸課題に応じた学校教育及び幼児教育に係る教職員研修、調査及び研究、教育相談、適応指導教室、特別支援教育心理等専門家チームの派遣等を実施。				
目標・実績	<p>「確かな学力」「豊かな人間性」「健やかな心身」を育て、子どもたち一人一人が自信を持って生涯にわたって幸せに生きていくための力をつけることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル教育の推進(英語スピーチコンテスト・サイエンスラボ・夢先生授業) ・規範意識の醸成(挨拶運動、禁煙・交通安全等講演会) ・いのちの教育の推進 				
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	ALTによる英語授業や英語スピーチコンテスト、サイエンスラボ、夢先生授業の実施により子どもたちが授業に興味を持ち、意欲をもって授業に取り組めるようになってきた。今後は教師の授業力、家庭教育力を高めていくためにも「教育センター」機能の更なる充実を図り、事業の質を向上させていくことが課題である。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
評価理由	評価理由		評価理由		
授業に対する熱意や態度についてはポイントが上がってきているが、家庭学習については全国や県平均よりポイントが低い。	子どもたちの自己肯定感を育み、一人一人が自信を持って生涯にわたって幸せに生きていく力をつけるために重要。		子どもたちが意欲を持って学習に取り組む基礎学力向上につなげるために有効である。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 意見 から	<p>「生きる力」と「学力」の在り方を模索し、子どもたち一人一人が自信を持って、生涯にわたって幸せに生きていく力とは何か、またそれをどう身につけるかについて、さらに多方面にわたる事業を展開されたい。プログラミング教育や討論・発表を多用するアクティブラーニングが要求されている中、基礎学力向上には結果分析に合わせた指導法の改善や、そのための研修が必要である。特に、教職員の資質向上を図るため、「教育センター」機能の充実が求められる。と同時に、児童生徒の学習意欲をいかに増進させるか、基盤である学習環境を整え、学ぶ良さをいかに体得させるかを学力向上の両軸・両輪の要素としてぜひとも位置づけられたい。</p> <p>魅力ある講座の開設には様々な要素が必要であるが、市内在住の退職教職員を講師に迎え、ボランティアで先達の知恵を伝えてもらうのも一考ではないかと考える。</p>	<p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
---------------------------	---	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 「学びの広場UDAプラン」事業の実践及び英語スピーチコンテスト・サイエンスラボ・夢先生授業などのグローバル教育の推進等により、徐々に学力向上の効果は上がっていると評価している。教職員の授業力向上のための研修会も積極的に行っており、引き続き研修の充実を目指す。また、児童生徒の全体的な学力向上には、家庭・地域とも連携し、あいさつの実行、規範意識の向上など継続的な取り組みを進める。</p> <p>また、ご意見をいただいた市内在住者を講師に迎える件についても、どのような取り組みができるのか今後の検討課題としていく。</p>	<p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 教育相談事業		所管課	教育総務課
事業の概要	臨床心理士による教育相談業務。主としては発達相談で、心理学的な見地から、保護者や教職員にアドバイスを行ったり、ニーズに応じて心理検査を行う。			
目標・実績	保護者・学校・幼稚園・保育所の担任、子どもが相談を受けることが可能で、家庭だけ、学校だけでない統一した子どもへの関わりや指導についてのアドバイスが可能であり、必要に応じて発達検査を行い、結果を保護者へ知らせ、相談を進めている。また、専門の相談員によるアドバイスがあるため利用者から評価が高く、幼稚園・保育所を卒園卒業しても、継続して相談を受けるケースが多いため、今までの良い状態を低下させることなく事業を継続していかなければならない。			
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題			
	問題を抱えている子どもたちが年々増えてきている中で、相談希望者の増加に伴い、相談員にもかなりの負担を強いている部分があり、この事業を継続していく上でその点を考慮していく必要がある。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A		
	評価理由	相談者が抱えている不安や悩みを学校以外の場所で気軽に相談できる機関として確立できた。	評価理由 幼稚園、保育所など早い時期での対応が、その児童に添った形での就学に結びついたり、専門の相談員によるカウンセリングにより児童生徒だけでなく保護者や教諭にも必要な場所となっている。	評価理由 大宇陀地域事務所という落ち着いた環境で実施することにより、利用者が人目を気にせず相談室に行くことができる。また、相談室と検査室が隣同士であることから子どもも保護者も安心してそれぞれで相談検査を受けることが可能である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 から の 主 な 意 見	<p>課題を抱えている子どもたちが年々増えてきている。小一中一の壁と言われている昨今、幼保小中の連携が重要視されているので、相互が働きかけて課題や不安を体験入学や同一経験(活動)を通して緩和・解決の一助としたい。また、そのような子どもだけでなくその保護者や教職員が抱えている不安や悩みを学校以外の場所で気軽に相談できる機関として確立されている事業である。</p> <p>専門家による継続した対応が、子どもに寄り添った形でぶれない成長をサポートしている。</p> <p>必要性が高く、その分相談員への負担が増えてきているので、増員などの措置が求められる。</p>	<p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
--	--	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>児童生徒の抱える様々な問題への対応に教育相談は不可欠である。特別支援が必要な児童が年々増加し、内容も多様化していく中、補助員等の増員によりその充実に努めてきた。今後も教育相談事業の充実へ取り組みを進めるべく、相談員の増員や関係機関との連携を検討、強化していく。</p>	<p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-------	---	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育内容の充実 — 外国語活動指導助手設置事業		所管課	教育総務課		
事業の概要	ALT(外国語指導助手)を配置し、市内7小学校の外国語活動授業で、クラス担任と連携し、Hi, friends!(副読本)を活用したチームティーチングを行う。小学5、6年生のクラスに対し年間20回、小学校1～4年生のクラスに対し年間5回ALTを派遣した。(外国語活動及び国際理解に関する教育の補助・外国語教材作成の補助) また、幼稚園、保育所、子育て支援センターに年間各6回訪問し、英語指導を行う。					
目標・実績	外国語活動において、音声を中心に外国語に慣れ親しむ活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標としている。 幼児期からネイティブな英語に慣れ親しむことによって英語に対する関心や興味が高まり、英語力の向上につながっている。					
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題 子どもたちはネイティブな英語に触れることができる授業を体験している。また、ALTの国の生活や行事などを聞くことができ、日本との違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くことができる。今後もALTのチームティーチングの仕方を工夫し、より効果的な外国語活動の指導につなげていきたい。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	評価理由		評価理由		
	幼児期からネイティブな英語に慣れ親しむことにより、児童の英語に対する関心・興味が高まった。	子どもたちの国際的な視野を広げる上でも、外国語指導の充実が重要となっている。		英語に対する関心を深め、国際感覚を磨くことにつながり、地域の国際化が期待される。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 の 主 な 意 見 か ら	2020年小学校5・6年で英語が正式な教科となることを踏まえ、幼少期よりALTや楽しい外国語活動を通して英語に親しむことは外国語への抵抗感を少なくする上でも重要である。他方、外国語にふれることで日本語の感覚をより一層磨き、日本語独自の良さや認識を深め、グローバルに活躍する子どもたちの育成に努められたい。 教職員がALTを指導しながら、ともに授業を構築できるよう、教育センターでも力量アップのための講座を開催されたい。	点検評価支援員による総合評価 【 2 】
--	--	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 国際社会において活躍できる人材育成には、外国語教育を一層推進していく必要があり、そのためには環境整備が極めて重要である。外国語指導助手を継続して配置し、英語や異文化への興味・関心が高まるような事業を積極的に企画し、さらに、コミュニケーション力、英語力育成への環境を整えるため、外国語指導助手の効果的な活用に向けて体制を整える。	事業の総合評価 【 2 】
---------------	---	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校の教育環境の充実 — 教育施設の耐震化(小学校)			所管課	教育総務課
事業の概要	榛原西小学校屋内運動場耐震補強等工事 榛原東小学校渡り廊下耐震診断 室生小学校屋内運動場改築等工事				
目標・実績	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進めるとともに経年による損耗、機能低下の復旧措置を図る。				
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	平成24年度に作成した宇陀市学校施設等耐震化計画に基づき、国が示す平成27年度の耐震化に向け、計画的に耐震化を進める。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	室生小学校、榛原東小学校は計画通り事業が完了。 榛原西小学校屋内運動場耐震補強等工事は平成28年度へ繰り越しをして完了する予定。	学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす施設であり、また、地域の避難所としての機能を有しているため、耐震基準を満たし経年による施設の機能復旧は必要。		学校施設の改修により教育環境の改善及び避難所としての安全な施設にすることで安全・安心な街づくりができる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 意見 から	<p>年次計画的に進められている市内の文教(学校)施設の耐震化の事業は、地域の避難所としての機能増に直結し、安全安心な街づくりに大いに寄与する重要な施策である。平成28年度で大規模な耐震化工事に一応の目途がつくということで、今後はさらなる教育環境の改善に努められたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
---------------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>平成27年度予算をもって完了予定であったが、平成28年度へ予算の繰り越しを行った。平成28年度の完了後は、大規模改造及び長寿命化に力を注ぐ。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
---------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校の教育環境の充実 — 教育施設の耐震化(中学校)			所管課	教育総務課
事業の概要	榛原中学校校舎耐震補強等工事 榛原中学校校舎耐震補強等工事単価入替業務				
目標・実績	学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急的な避難場所としての役割を果たすことから、施設の耐震化を進めるとともに経年による損耗、機能低下の復旧措置を図る。				
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	平成24年度に作成した宇陀市学校施設等耐震化計画に基づき、国が示す平成27年度の耐震化に向け、計画的に耐震化を進める。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	平成28年度事業完了予定。	学校施設は児童生徒が一日の大半を過ごす施設であり、また、地域の避難所としての機能を有しているため、耐震基準を満たし経年による施設の機能復旧は必要。		学校施設の改修により教育環境の改善及び避難所として安全な施設にすることで安全・安心な街づくりができる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の 主な意見から	文教(学校)施設は、大規模災害時の防災拠点となり、対策本部や避難所として重要な役割を果たすことになる。「命を守る、命を大事にする」という第一の視点からも堅実な耐震補強工事の完遂をお願いする。平成28年で大規模な耐震化工事に一応の目途がつくということで、今後はさらなる教育環境の改善に努められたい。				
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】				

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 平成27年度予算をもって完了予定であったが、平成28年度へ予算の繰り越しを行った。平成28年度の完了後は、大規模改造及び長寿命化に力を注ぐ。				
	事業の総合評価 【 2 】				

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育環境の充実 — ぬくもり修学奨励資金支給事業		所管課	教育総務課
事業の概要	修学困難な生徒に対して修学奨励を図るため、高等学校、大学等の入学支度金として修学奨励資金支給する。			
目標・実績	市の将来のまちづくり活動に取り組む意欲をもってもらい、市の活性化を図る。 平成27年度 19人に支給			
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題 入学支度金として現状の金額が妥当なのか検討の余地がある。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	B	評価理由	
	評価理由	修学困難な生徒の入学支度金として修学奨励資金を支給することで、進学しやすい環境をつくること ができた。	評価理由	宇陀市内に在住する高等学校・大学等の入学支度金として、修学困難な生徒に対し修学奨励資金を支給し、市の教育環境づくりを図ることを目的とする。
	評価理由		評価理由	入学支度金として修学奨励資金を支給することは、修学率の増加につながることで「人を育て文化が薫るまちづくり」の一環として有効性が高いと思われる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	<p>親の経済格差が子どもの教育環境や学力差に影響していることが問われている。こうした現状からも修学奨励資金を給与することは、高校大学への進学を支援し、勉学の夢を育てることにつながる意義のある施策である。子育てがしやすい魅力ある宇陀市として、市在住者を増やし、また他からの流入を図るためにも、子ども支援担当課と協力して、出生から成人するまで手厚く子育て支援を進める環境づくりに努められたい。</p> <p>安心して就学できる若者を増やすことで、宇陀市の将来が活性化すると考えられる。今後もできるだけ支援を広げられたい。</p>	<p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
---------------------------------------	---	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の 方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>修学奨励資金を支給することで就学率が増え、教育を受ける権利を保障することの一助となると考える。財政的な課題はあるが、今後とも継続して進めていく。</p>	<p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------------------	---	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 学校教育環境の充実 — 学校給食賄材材料購入事業			所管課	学校給食センター	
事業の概要	子どもたちに「安全・安心でかつおいしい給食」を提供するため、国産物資、国内加工、無添加食材を基本として購入する。 購入においては、特に地場産を中心とした旬の食材を積極的に活用する。 また、県給食会との連携を深め、情報入手を積極的に行いながら、食材の安全確認を行う。					
目標・実績	地場産物(市内・県内産)の積極的な利用により、地産地消を推進する。 使用食材の安全衛生管理を徹底する。管理方法としては、次の4項目を実施している。①食材の産地表示の義務化 ②放射能で出荷制限のある食材は、放射能物質検査済証の提示 ③加工食品は、原材料及び産地確認 ④学校給食衛生管理基準に基づく食品検査を複数回実施 また、給食のアレルギー対応として、献立の成分内容を明確にして、アレルギー除去対象の保護者及び希望者に情報を提供する。 学校給食食材購入費：117,376,389円					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題					
	地場産物(市内、県内産)を使用した献立による「安全・安心でかつおいしい給食」を提供することを心がけ、地産地消を推進している。献立に対する保護者の声を聞く場として、給食試食会を6校3園で12回実施し、294名の参加があり、意見等は献立の参考としている。食育授業を、6校で24回開催するとともに、4校の施設見学及び職場体験の受け入れなどにより、給食に対する関心や理解を深めている。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	「安全・安心でかつおいしい給食」を提供することができた。		評価理由	衛生管理を徹底するため、産地表示の義務化や関連書類の提出を求めることにより、使用食材の安全を確認できる。	
				評価理由	試食会などでの情報が、献立の参考になる。献立の成分内容などの情報の共有により、効果的なアレルギー対応ができる。食育により、食に対する関心や理解が深められる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 意見 から	<p>地場産物(市内、県内産)を使用した献立による「安全・安心でかつおいしい給食」を提供することを心がけ、地産地消を推進されている。</p> <p>さらに給食試食会、給食センター施設見学の開催、給食甲子園への出場等の開かれた食育教育の取り組みに感謝する。</p> <p>施設設備の老朽化が懸念され、改修による市の負担から運営そのものが外部委託されるようなことが危惧されるが、学校給食は子どもたちの健やかな成長のために不可欠なものであり、市として管理運営を継続されたい。</p>	点検評価支援員による総合評価 【 2 】
----------------------	--	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>使用食材及び施設等の安全衛生管理を徹底し、地場産物(市内、県内産)を使用した献立による「安全・安心でかつおいしい給食」を提供することを継続し、地産地消を推進する。</p> <p>食に対する関心や理解を深めるため、試食会・食育授業・施設見学・職場体験などを通して、食育を推進する。</p> <p>子どもたちに「安全・安心でかつおいしい給食」を提供することを基本に、これからの給食センターを考える。</p>	事業の総合評価 【 2 】
-------	--	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 地域の教育力の醸成 — 子ども活動支援事業		所管課	生涯学習課
事業の概要	地域教育力再生の契機として、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援することによって、子どもたちの学習補助や環境の整備、登下校の見守りなど子どもたちが安全で安心な学校生活がおくれる環境を整える。			
目標・実績	地域ぐるみで子育てをする体制を構築することにより教育活動の充実や教員が子どもと向き合う時間を拡張し、将来宇陀市を担う健全な青少年の育成を図る。			
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 市内全小中学校において事業を実施し、それぞれの学校の取り組みにおいて地域の方々との協働を実施した。スクールバスの運行時刻が決まっているため、放課後に行う事業への取り組みに時間の制限がある。地域で意欲的に取り組んでいる事業が補助対象にならないケースがあるなど、一部財政的な課題を抱えている。			
	達成度	B	必要性	A
	有効性	A	評価理由	評価理由
	市内全小中学校が事業を実施したが、ボランティアの登録数が増加しない。	地域に開かれた学校づくりを目指し、地域の教育力を高めるために必要な取り組みである。	地域の人々が学校運営に参画することができる有効な事業である。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	<p>地域の教育力や連帯感を培い、育て、活性化させ、地域全体で子どもとの関わりを探り、創ることが大切であり、学校を核に教員、家庭、地域がお互いに協力し合い、次代を担う青少年の育成を図るため、学校はさらに地域に開かれるべきである。</p> <p>活動できる時間的な課題も踏まえ、学校支援者として地域の隠れた人材を発掘し、有効活用されるように需要と供給のバランスを図り、支援事業の深化を望みたい。</p>	点検評価支援員による総合評価 【 1 】
---------------------------------------	--	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>地域に開かれた学校づくりを目指し、それぞれの学校独自の取り組みや特色ある活動を支援するなど、子ども・地域・学校が相互に学び合いながら地域の教育力が醸成されるように今後も事業を実施する。</p>	事業の総合評価 【 1 】
-------	---	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 地域の教育力の醸成 — 青少年育成支援事業		所管課	生涯学習課	
事業の概要	青少年の規範意識や社会性の低下が社会現象となり、その要因として親子のふれあいや信頼関係の希薄化、家庭や地域の教育機能の低下等があり、学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することでこれらを解消し、子ども自身の力を伸ばし、青少年の健全育成と地域の連帯、ふれあいを深めることを目的に広報、啓発活動・有害環境浄化活動を実施した。				
目標・実績	未来を担う子どもたちを健やかに育むために、地域全体で教育に取り組む体制をつくり、地域全体の教育力の向上を目指す。				
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題				
	街頭啓発活動として、市内中高生から募集した青少年健全育成に係る標語を印刷したポケットティッシュを配布し、青少年の健全育成に努める。関係団体を所管したり、様々な支援活動を実施したりする青少年センターの設置が急がれる。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
評価理由	評価理由		評価理由		
街頭啓発活動や、有害図書の販売時の指導を実施したが、より多くの活動を実施する必要がある。	様々な活動を継続して実施し、各方面と連携しながら青少年健全育成を図る。		街頭啓発活動や、有害図書の販売時の指導を実施するなど、有効性は高いが単発的になりがちなことから、活動の幅を広げていく必要がある。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 見 か ら	<p>青少年の規範意識や社会性の低下が言われる中、地域の青少年健全育成会や子ども会との相互連携を図り、協働していくことが大切で、地域と子どもとの関わりをつくり、連帯感を育むことは必ず地域の発展につながることになる。</p> <p>従来活動を継承しつつ、さらに活動が充実したものとなるために、市として青少年センターの設置が急務といえる。健全育成の目的に沿う、行政からの十分な支援をお願いしたい。</p>	点検評価支援員による総合評価 【 1 】
----------------------------------	--	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の 方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>青少年健全育成活動は、地域の教育力向上の基礎となる活動の一つである。地域青少年健全育成協議会と連携を強化しながら、今後も子どもたちが健やかに成長できるよう堅実な活動を継続する。</p>	事業の総合評価 【 1 】
-------------------	---	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 地域の教育力の醸成 — 子どもフェスタ事業		所管課	生涯学習課
事業の概要	あそび体験を通じて、仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成を図る。			
目標・実績	あそび体験を通じて、仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに豊かな感性を育み、未来を担う宇陀市の子どもたちの健全育成を図る。事業実施にあたっては、実行委員会を組織して企画立案から実施までを行う。 実施内容は、紙飛行機大会、クラフト、軽スポーツ体験、紙芝居など様々なコーナーで、楽しみながら体験をしていただいた。			
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 市内の子どもたちが集まり、遊びを通じて交流することができた。また、ペットボトルキャップを集め、ポリオワクチンを海外へ届ける事業にも協力できた。 参加者 約1,500人 新しいあそび体験や、軽スポーツを取り入れていく必要がある。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A	評価理由	評価理由
	実行委員会の企画立案から運営まで、市民の主導による事業実施ができた。年々少しずつ内容や模様を変えつつも、参加者の笑顔を中心に据えた事業ができた。	市内の子どもたちが一堂に会する機会を設け交流する、他に類のない事業である。	体験を通じて仲間づくりや、様々な人との交流が図れ、豊かな心・健全な心の醸成の一助となっている。また、榛生昇陽高校のボランティアの参加もいただけた。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の 主な意見 から	子どもフェスタが回を重ねるごとに多方面に工夫、深化されていることはたいへん評価できる。遊びは子どもにとって不可欠なものであり、遊びを通して仲間づくりができ、様々なルールを身に着け、社会性も備わっていく。そのためにも市内の子どもたちが集まり、遊びを通じて交流する場を設けることは大切なことである。 実行委員会や高校生ボランティアの協力を得ながら、子どもたちの健全育成を図る事業としてさらに参加者を増やし、充実したものとされたい。	点検評価支援員による総合評価 【 1 】
----------------------	--	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 遊びを通して、仲間づくりやルールを身につけるとい事業の基本部分を大切にしながら、大人も子どもも楽しめる事業として、毎年少しずつ内容を変えながら事業を実施している。子どもフェスタを体験した子どもたちが成長し、ボランティアスタッフとして参加いただくなどの循環の実現を図るなど、今後も継続的に事業を実施していく。	事業の総合評価 【 1 】
-------	---	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 市美術展事業		所管課	生涯学習課
事業の概要	平成27年10月31日～11月3日の間、市役所4階、5階において絵画・書芸・写真・彫塑工芸部門を設け、展覧会を実施した。			
目標・実績	絵画26・書芸48・写真18・彫塑工芸19作品が出展され、延べ700人の来場者があった。今後は、参与作家による作品の展示など、より格調高い市美術展覧会を開催していく。そのことにより、創作意欲の向上を促し、美術文化の向上を図る。			
教育委員会 自己評価 の	成果と課題			
	出展数、来場者ともに前年度より減少したが、参与作家に出展をいただくなど好評を得た。			
	達成度	B	必要性	A
評価理由	評価理由		有効性	
来場者がやや少ない。開催の告知の仕方を考えるなど来場者の増加を図る。	文化芸術活動を行うことで創造力や表現力を高め、豊かな心を持った社会を形成していくに資する事業である。		文化芸術作品を創造し、鑑賞することで、心豊かな社会形成・魅力あるまちづくりを推進する。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の 主な意見 から	<p>参与作家による作品の展示や幼児の作品展示もあり、年々内容の充実がみられる市美術展となっている。 若年層の豊かな感性を養う機会として価値ある魅力的な事業であるので、来場者数をさらに増やしていく広報活動を展開されたい。また、展示スペースの工夫や常設場所の設置等さらなる発展・充実を望む。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
----------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>参与作品の展示を引き続きお願いしていくなど格調の高い美術展を目指し、努力を重ねながら引き続き市美術展を開催していく。また、来場者数の増加のために広報活動にも力を注ぐ。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 公民館管理運営事業		所管課	中央公民館
事業の概要	宇陀市民一人一人が、心豊かに健康で生きがいのある人生を過ごすために、生涯にわたって主体的に学習を継続することが求められていることを踏まえ、生きる喜びを分かち合える生涯学習社会の構築を目指して、地域課題や市民の学習ニーズに即した学習機会の提供を図るとともに、地域に根ざした公民館活動を推進する。			
目標・実績	身近な学習や文化活動が、誰でも気楽に活動できるような環境整備に努め、文化的活動の機会や地域住民と公民館活動をつなぐ情報提供に努めるとともに、各種団体と協力連携し地域の教育・文化の振興を図る拠点とする。また、自主グループの育成を推進し、各分館の施設利用率の増加を図る。 ・H25年度使用料(4分館) 3,084,235円 ・H26年度使用料(4分館) 3,052,740円 H27年度使用料(4分館) 3,044,975円			
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 公民館の施設利用の殆どは自主グループ及び定期利用団体であり、利用率は概ね順調である。さらなる利用率向上を図るため自主グループの育成に努める。 ・H26年度自主グループ登録数 39団体 ・H27年度自主グループ登録数 40団体			
	達成度	B	必要性	B
	有効性	B	評価理由	B
	評価理由	概ね適切な施設維持管理及び運営ができたと考える。	評価理由	市民が「集い・学び・繋がる」機会と場の提供のため、公民館の必要性は高く、更なる施設の環境整備に努める。
			評価理由	実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって市民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与できたと考える。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	地域の公民館は、そこでの学習や文化活動を通して世代間の交流を深め、地域の人々を結びつける働きを持つ。長寿社会を迎え、市民誰もが心豊かに元気で生きがいのある人生を過ごすために、生きる喜びを分かち合うべく「集い・学び・繋がる」機会と場の提供は必要性が高く、その施設の環境整備も不可欠である。市民のニーズに応じた講座を開設するため、今後さらに内容検討を図り、広く意見を聞く場も設けられたい。
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 身近な学習や文化活動に、誰でも気楽に取り組めるように努め、地域に根ざした公民館活動を推進するための拠点として、その環境整備に努める。
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 地域公民館活動支援事業			所管課	中央公民館	
事業の概要	「宇陀市地域公民館活動支援補助金交付要綱」に基づき、対象となる公民館活動を行った自治会等に対して補助金を交付する。					
目標・実績	地域ぐるみで活発な生涯学習活動を目的とした地域公民館事業を支援することにより、より一層の充実と活性化を図る。 ・平成25年度補助金交付額実績:2,215千円 ・平成26年度補助金交付額実績:2,290千円 ・平成27年度補助金交付額実績:1,500千円					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 地域づくりと連帯意識の醸成を図るための事業を推進するため、活動を支える助成措置は、有効に活用されてきたと考える。ただ、地域による支援補助金の平等化の方向性と、市が推進している「まちづくり協議会」の趣旨により、地域での公民館活動事業もまちづくりの一環として大きくとらえて、支援補助金の見直しが必要と考える。					
	達成度	B	必要性	B	有効性	B
	評価理由	評価理由 地域の活性や問題解決のため、市は「まちづくり協議会」の設立を推進しており、まちづくり協議会補助金への移行が望ましいと考える。		評価理由 公民館事業もまちづくりの一環として大きくとらえ、地域の公民館事業への分配を受け事業展開は図れるものとする。平成29年度をもって本補助金の廃止を進めている。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の 主な意見 から	<p>地域公民館は、その地域の住民の協働によるまちづくり推進の拠点となる重要な施設であり、果たす役割は極めて大きい。平成29年度での本事業の終了に伴い「まちづくり協議会」の活動へ移行されるが、今までの成果と活動を評価し、各地域の協議会との連携による活性化に期待するとともに、まちづくり協議会補助金への移行を速やかに進められたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 5 】</p>
----------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>抜本的に見直しを行い、平成29年度で補助事業は廃止する予定。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 5 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 － 各種講座・教室事業		所管課	中央公民館		
事業の概要	市民のニーズに合った講座の充実を図り、自主グループ・リーダーの養成とまちづくり・まちおこしなど地域社会参加の促進を図る。「定期講座」は各分館にて開催し、1年を通じて初歩から応用までを学習する。「ウェルネスシティ講座」、「市民教養講座」、「入門講座」、「生涯学習講座」については各分館を会場とし、各テーマを設けて、知識の向上、趣味の輪の拡大、健康の保持や生きがいづくりを目指した講座を開設。					
目標・実績	社会教育法に基づき、市民のために実生活に即した教育・学術・文化に関する各種の事業を行い、もって市民の教養向上、健康の増進を図り生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 参加者述べ人数 2,151名 また、各地域(4分館)で出前講座[はじめてのアロマセラピー]を開催した。					
教育自己委員会評価の	成果と課題 各講座・教室では、応募者が定員以上になり抽選を行うものもあるが、応募率が半分のももある。また、定期講座によっては年7回から8回開催するが、回をおって受講率低下が顕著に表れる。市民ニーズに合った講座を開設するためアンケートによる調査等を実施し、市民が求める講座の把握に努めている。また、周知についても広報誌や宇陀チャン以外にも「公民館だより」を発行し、より多くの参加者を得るよう努めている。今後さらに幅広い年代の受講生を対象とするため、時代に合った講座や開催時間の検討も必要と考える。					
	達成度	B	必要性	B	有効性	B
	評価理由	幅広い年代層に興味を持っていただく講座内容、開催日時等の検討が必要。また、参加者が少ない講座については様々な方法の周知を行い、随時募集を行うことも検討する。	評価理由	社会教育法に基づく公民館活動を達成するため必要と考えるが、適切な講座数、募集人数並びに開催回数の見直しも必要と考える。	評価理由	講座及び学級等を開催することにより、市民の教養向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉等の促進を図る。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	「誰でも気軽に参加して学べる」このことは基本的な命題であり、常に大切にしたいことである。適時の公民館だよりや広報等を通じて参加者を募集されているが、幅広い年代層の興味関心に対応するためには、さらにアンケート等による調査を実施したり、講座内容を周知したりしなければならない。講師謝金の負担が増え、講座数やその開設回数にしわ寄せがないように、市内に眠る人材を発掘活用することも考えられたい。	点検評価支援員による総合評価 【 2 】
-----------	---	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 受講生へのアンケート等により、多種多様化する市民の学習ニーズを把握し、幅広い年代の方が多く参加できるよう、開催場所・開催曜日・開催時間などの環境整備に努める。引き続き、本年度も市民生活に密着したテーマで各分館で「出前講座」を開催する。	事業の総合評価 【 1 】
-------	---	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 図書館機能充実事業	所管課	中央図書館
-----	--	-----	-------

事業の概要 図書館システムを活用したウェブサービスの促進を目指し、図書館資料の活用を促す。また、平成26年度末に宇陀市子ども読書活動推進計画が策定され、宇陀市の現状と課題を保育現場や学校現場の先生方と共有し、今後に生かすことで、より読書活動を活性化する。

目標・実績 市民の皆さんに“いつでも、どこでも、誰でも”読書を楽しむことができる生涯学習環境を作ることを目指す、そのためにアクセスポイントでの本の貸出・返却やインターネット予約などの図書館システムの利用を促進させて、利用率の向上を図る。またHPやツイッターなどで情報提供を定期的に行い、図書館運営への参加を促す。また子ども読書活動推進計画の策定を受けて、今後5年間を目途に宇陀市の子どもたちの読書力向上を目指す。
平成27年度実績
・蔵書冊数 143,097冊 利用人数41,389人 貸出冊数141,343冊
・子ども読書活動推進計画の策定に伴い、幼稚園・保育所及び小中学校連絡会議を年2回開催し、団体貸出インターネット予約の利用促進を目指した。
幼稚園・保育所団体貸出数…平成27年度4,050冊(平成26年度2,070冊)
小・中学校団体貸出数…平成27年度869冊(平成26年度797冊)・市外小学校260冊(東吉野等)
・平成27年度ブックリスト『この本読んで』…作成・配布
・絵本講座「もっと絵本に親しもう」全3回開催…講師 童話作家 松岡節先生

教育委員会自己評価 貸出冊数・利用人数は多少ではあるが増加している。また、子どもの読書活動推進計画の策定による、幼稚園・保育所及び小中学校連絡会議を開催し、その結果として特に幼稚園・保育所の団体貸出の増加がみられた。
小学校についてはある程度の成果があったと思われるが、今後のアプローチの方法を考慮する必要がある。
市民が参加できる図書館をコンセプトに『プチ自慢』のコーナーは回を重ね、利用者から好意的な感想をいただいている。

達成度	B	必要性	A	有効性	B
評価理由		評価理由		評価理由	
特に子ども読書活動についての小学校及び中学校への働きかけの手法等を検討していきたい。		生涯学習の要として、市民の多種多様なニーズに応えるべき施設であると認識しており、市民に必要として頂ける蔵書構築が重要。		中央図書館・大宇陀図書館の施設環境は必ずしも良いとは言えず、蔵書冊数も多いとは言えないため、利用者のニーズに十分に答えることができない。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見 人が生涯学び続ける意欲を育てるには、基礎となる読書力とそれを活用する場が必要であり、そのためにも読書をしたり、情報を提供したりする図書館が担う役割は大きい。広域に点在する市民のために、アクセスポイントの設定やインターネットを利用したシステムを活用して読書意欲を高めている。さらに環境整備を図りながら、その利便性を広く周知し、利用促進を図られたい。
モバイル端末の普及に伴い、紙離れが危惧されている昨今、講演会、おはなし会、すくすく広場、放課後子ども教室等の取り組みを評価し、今後も特色ある多様な図書館づくりの追及・開発をお願いする。また、子ども読書活動推進計画を策定したことにより、計画にのっとり、子どもの読書意欲を高めるため、学校現場と協力する機会を増やされたい。
点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針 〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉
今後さらに活動の場を広げ、市民の多様なニーズへのアプローチを推進していきたい。
学校連携については、幼稚園小学校への団体貸出等、一定の成果を得られた。今後も成果の定着に努めるとともに、いまだ成果が見えてこない部分について、さらに工夫を凝らし読書意欲の啓発に努めたい。
事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 ー 図書返却ポスト事業	所管課	中央図書館
事業の概要	インターネット(携帯電話)予約を受け、それぞれの受取場所への配送サービス及び、各地域に設置した返却ポストや大宇陀図書館からの返却本の回送を行う。		
目標・実績	返却ポストは、周知によりかなり浸透してきているが、貸出ポイントの利用の増加はまだまだ少ないので、更なる利用者の増加を目指す。 平成27年度返却ポスト利用状況 返却冊数 26,197 冊 貸出冊数(公民館) 69 冊		
教育委員会 自己評価	まだまだ、利用者の増加を目指して考えられる手立てはあると思うので、28年度に向けて対応を検討し、実施していく。		
	達成度	B	必要性
	評価理由	A	有効性
返却ポストの利用は増加傾向ではあるが、貸出場所の周知と利用が伸び悩んでいる。	評価理由 中央図書館・大宇陀図書館から離れた場所でも公平にサービスを受けることができるのは市民として当然のことであり、そのために、返却ポストや貸出場所の設置は必要である。	評価理由 本を手にとって選べるのが理想ではあるが、インターネットや新聞・雑誌などで内容を調べ、インターネット予約し、地元受取することも有効な手段である。	
※	達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い		
点検の 主なる 意見 から	配送サービスや返却ポストの設置は利便性の向上につながり評価できる。図書がより身近な存在になるよう、市民にインターネット予約の利便性を周知し、返却ポスト、貸出ポイントのさらなる活用を推進された 色々課題はあると思われるが、図書館の夜間開館を試験的に実施してみるのも利用増加につながるのではないと思われる。 <div style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</div>		
※	総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結		
今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 配送サービスの向上に努めるとともに、市内利用者の実態を踏まえ、例えば、生駒市立図書館で現在行われている宅配サービスボランティアなど、サービスポイントへのアクセス方法について柔軟に検討していきたい。また、図書館の夜間開館については現在の立地条件及び館内施設を考慮し、検討課題としていきたい。 <div style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</div>		
※	総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結		

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯学習機会の充実 — 寄贈資料の管理運営事業				所管課	中央図書館
事業の概要	宇陀市に寄贈された約1万冊の貴重資料を宇陀市立図書館の蔵書として登録し、館内閲覧のみの貴重資料ではあるが、メイプルパーク内に玩槭文庫として開室。市立図書館の資料として広く周知する。					
目標・実績	登録した寄贈資料約1万冊を、メイプルパーク内に玩槭(がんしゆく)文庫として開室し、寄贈資料を管内閲覧していただく施設の整備及び管理運営をメイプルパークに委託した。その結果、来館者に対し市立図書館の資料として広く周知することができた。					
教育委員会 自己評価	当初の目標は達成しているが、今後この貴重な資料を、うまく運用していけるように検討していく必要がある。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	B
	評価理由	評価理由		評価理由		
	計画通りに登録をすべて完了した。	寄贈された物件は適切に管理運用しなければならない。		資料が最も有効に活用できる方策を考える必要がある。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>貴重な蔵書や資料を、寄贈いただいた方の思いに寄り添い大切に保管していただきたい。しかしながら貴重な資料であるがゆえに、一般市民にはハードルが高く感じられるのではないかと考えられるので、文化会館での展示などを重ね、さらに有効活用する方向を模索していただきたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
-----------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>中央図書館及び文化会館等での玩槭文庫の蔵書展示などを通して、様々な場面で貴重な本を見ていただける機会を増やしていきたい。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 — 宇陀シティマラソン事業		所管課	生涯学習課	
事業の概要	「走ろう宇陀！ふれあう心」をスローガンにファミリーの部から10kmの部まで市役所周辺を会場にマラソン大会を実施。 また、温泉手湯や食推元気汁のふるまい、宇陀市のPRなどを行い、宇陀市を県内外に発信していく。				
目標・実績	宇陀の豊かな自然の中で、市民をはじめ参加する方々の健康の維持増進、健幸都市ウェルネスシティ宇陀市を目指し、お互いの交流と親睦を図るとともに、青少年の健全な育成を目指す。 平成27年度は1,700名を超える申し込みをいただくとともに、約400名のボランティアスタッフの協力により、大会を成功させることができた。				
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題				
	ハーフマラソンの実施の要望が多くあるが、クリアしなければならない課題が多く、非常に困難である。 宇陀産品の展示・販売を大会と合わせて行っていただき、好評を得た。 マラソン大会の実施告知を市内中心に、より積極的に実施する必要がある。				
	達成度	A	必要性	A	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	定員を超える参加者申し込みをいただくとともに、約400名のボランティアスタッフの協力による市民協働のマラソン大会となっている。	宇陀市開催のスポーツイベントとしては最大規模であるとともに、健幸都市ウェルネスシティ宇陀市構想の一翼を担っている。		誰もが参加しやすい距離設定で健康保持増進が図れ、市外からの参加も多く、宇陀市のPRにつながっている。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見	<p>「体」を骨が豊かと書いて「體」と記せることから、骨格を芯とする肉体が心を育むとして走ることへの魅力を発信する本大会は、多くの関係者の支援・協力を得て、着実な成果をあげてきている。ハーフマラソンの設定の要請もあるが、10kmで設定されることで、気軽に参加しやすい大会として人気といえる。中学生の吹奏楽の演奏や宇陀の特産品の販売などがあり、高校生をはじめとした多くのボランティアの協力のもと、市のイベントとして定着してきた。</p> <p>今後は、さらに広報活動に力を入れるとともに、安全面での配慮を怠らず、参加者が「走ってよかった、来てよかった」と思える大会かつ、市民の交流の場となることを期待する。</p>	点検評価支援員による総合評価 【 1 】
-----------------------------	--	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>毎年、多くのボランティアスタッフに支えられながら、全国からマラソンランナーを迎え、宇陀の自然を満喫していただけるマラソン大会として参加者からも好評を得ている。また、市内の方々の健康づくりの場、ランナーに走ることを感じていただける大会となるよう今後も魅力あふれる大会を継続して実施していく。</p>	事業の総合評価 【 1 】
-------	---	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 － 大人のための運動教室事業	所管課	総合体育館
-----	---	-----	-------

事業の概要	室内温水プール内の施設を利用した継続型の運動教室の開催。
-------	------------------------------

目標・実績		27年度
	基礎	22人
	エアロビクス	21人
	ピラティス	24人
	ヨガ	28人
	水中アクア	40人
	膝腰改善	52人
	合計	187人

教育自己 委員会 の 評価	成果と課題					
	運動を始めたいと思っている人や、運動の必要性がある人が運動実践を体験でき、定期的に行うことで運動の習慣化につなげていける。平成27年度は教室内容の変更や追加を行った。					
	達成度	B	必要性	A	有効性	A
	評価理由	健康のため何らかの運動をしたいと思っている人にそういう場を提供できた。		評価理由	「ウェルネスシティ宇陀市」を掲げ、市民の健康づくりを推進していく上でも、継続型の運動教室は必要である。	
			評価理由	健康増進、体力維持、疾病予防だけでなく、人とのコミュニケーションを深めながら、心身の健康づくりに寄与できる。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 から の 主 な 意 見	<p>スポーツ庁は、過去の運動経験の有無に関係なく「週一日以上の運動」を推奨し、運動の習慣が身につけば年齢を問わず体を動かす良さが味わえ、健康に良い影響を与えることになると提言している。「ウェルネスシティ宇陀市」としても高齢化社会に向け、主体的に心身の健康づくりに取り組むよう市民の意識を高めるため、さらに魅力ある多様な教室の展開に期待する。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
--	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>心身の健康づくりに寄与できる継続型の運動教室として、受講者のニーズも取り入れながら今後も事業を推進し、受講者の増加に努める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
---------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 － 小学校水泳教室事業		所管課	総合体育館	
事業の概要	市内の小学校2、3年生を対象に、水泳を通してスポーツの楽しさを知り、生涯にわたりスポーツに親しむことを目的として、夏休み2日間にわたり水泳専門講師よって授業を行う。				
目標・実績	水泳技能を学び、水泳の楽しさや基礎体力や健康づくりの推進を図る。				
		26年度	27年度	生徒数増減率	
	水泳教室生徒数	161人	144人	89.4%	
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活で低学年に、水泳等のスポーツに親むことなどで多くの経験を積むことが、その後の学校生活を豊かにする。 ・全学校の参加者を班編成して振り分けることで、受講時間が少なくなる。 ・スクールバス搬送に移動時間が多くかかる所がある。 				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	対象生徒の約4割の子どもたちが参加している。	夏休みの時期を利用して専門講師に学べる。		水に慣れることや水泳技能、基礎体力等が身につく。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 の 見 解	泳げるということは、いざというときに命にかかわることである。低学年の間にしっかりと専門家による指導を受けることができる水泳教室は「ひと夏の思い出づくり」にも有意義で価値ある成果を残している。送迎・グループ編成等準備から終了まで大変だが、さらに多くの児童が参加するよう考慮されたい。
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 子どもたちの水泳技能や基礎体力向上のために今後も事業を推進し、参加者の増加に努める。
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 － 水泳教室事業			所管課	総合体育館
事業の概要	水泳教室を専門業者に業務委託し、一年を通して専門講師から能力に合わせた技能を習得する。 ①水泳教室(幼児コース、児童・生徒コース、成人コース) ②水中ウォーキング ③水中エアロビクス				
目標・実績	ジュニアにおいては水泳の基礎技能を学びスポーツの基礎体力をつける。また、成人は水に親しみながら水泳の楽しさや健康増進を図る。				
		26年度	27年度	生徒数増減率	
	水泳教室生徒数	395 人	406 人	102.8%	
	ウォーキング生徒数	18 人	18 人	100.0%	
	水中エアロビクス生徒数	12 人	15 人	125.0%	
	合計	425 人	439 人	103.3%	
教育委員会 自己評価 の	成果と課題				
	ジュニアオリンピック出場者や全国高校記録保持者を輩出し、水泳選手を育てる役割を果たしている。また、成人においては、水に親しみながら水泳の楽しさを知っていただき、健康づくりにも貢献した。				
	達成度	B	必要性	A	有効性
	評価理由	評価理由		評価理由	
	前年度に比べ水泳教室の生徒数が若干増加した。	市内で一年を通して気軽に子どもたち等が水泳を学べる唯一の施設として受講生が多い。		技能に合わせてクラス選択でき、上級から選手コースまで気軽に学べ上達できる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	<p>子どもの技能習得と成人の健康増進の両方を推進されている。専門講師による指導を受けながら一年を通して泳げることは、体力づくり、健康づくりに有効な手段であり、何より泳ぐことが生活に潤いを与え、生活を豊かなものにするにつなげる事業である。</p> <p>年中泳げる身近にある施設としてさらに市民の利用拡大を図りたい。受講生の希望による夜間開催は評価に値する。</p>	点検評価支援員による総合評価 【 2 】
---------------------------------------	---	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>子どもたちの体力向上や選手育成、成人の健康づくりのために今後も事業を推進し、受講者増加につながる環境の整備や広報活動に努める。</p>	事業の総合評価 【 1 】
---------------	--	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 — 宇陀市小学校対抗子ども駅伝大会事業			所管課	総合体育館	
事業の概要	長距離走を通して子どもたちの体力向上と健全育成を図るとともに、スポーツ全般に必要な基礎体力や連帯感を養い、豊かな人間性をつくる。 ・「宇陀市駅伝チャレンジ大会」において、小学校5、6年生の8名1チームとして市内各小学校より集まりタイムを競う。 ・各小学校5・6年生に希望者を募り、駅伝練習を3ヵ月間行った後、「奈良県市町村対抗子ども駅伝大会」に参加する。					
目標・実績	駅伝の楽しさを知り、学校の枠を越えて子どもたちの仲間意識や人を思いやる心を育てる。 ・宇陀市駅伝チャレンジ大会 参加:11チーム(91人) ・奈良県市町村対抗子ども駅伝大会 練習参加:18人 大会成績:10位(38チーム)					
教育自己 委員会の 評価	成果と課題 駅伝の楽しさを知り、基礎体力を高め、仲間の団結を生み、将来にわたるスポーツ振興を図った。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	チャレンジ大会においては、参加チームが増えた。また市町村対抗においては、参加児童が練習会に熱心に参加し、体力の向上につながった。	評価理由	学校間を超えた仲間づくりができたこと。	評価理由	駅伝の楽しさを知り、仲間との連携を学ぶことが将来にわたるスポーツ振興と豊かな人間性を育むことにつながる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 意見 見 ら	<p>マラソンのような個人の記録が優先される競技ではなく、「タスキをつなぐ」という連帯感を養い、豊かな心を育む駅伝が市内の小学校において認められ取り組まれることは、子どもたちの仲間意識や人間関係づくりに大いに寄与されると考える。</p> <p>馬見丘陵公園での大会は、広報での紹介や奈良・宇陀テレビの放映等で拝見したが、力走する児童の活躍には目をみはるものがある。</p> <p>練習等の指導は大変だと思われるが、今後とも参加チームが増え、その中から市町村大会にも参加を希望する子どもたちが出てくることにつながれば、より有意義なことである。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
--------------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>駅伝という競技を通じて子どもたちの基礎体力の向上や仲間との連帯感を養い、子どもたちの健全育成の一環となるように事業の拡大に努める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 — 全国高等学校総合体育事業(空手道)		所管課	生涯学習課
事業の概要	教育活動の一環として、高等学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的に、宇陀市総合体育館において開催された。大会期間中の観戦者数は約16,000人。			
目標・実績	奈良県と連携・協働し、市民の理解と協力、高校生の積極的な活動を通じ「心に残る」大会を目指すとともに、次代を担う人材の育成と活力ある地域づくりの契機とする。また、宇陀市を訪れる競技関係者、観戦者の皆様に市の魅力を伝えることで、全国に宇陀市をPRできる。			
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 平成27年7月30日～8月2日の間、宇陀市総合体育館において、競技参加者・指導者約1,000人、観戦者約16,000人、競技役員・ボランティアは延べ600人の内容で熱戦が繰り広げられた。宇陀産木材を使用したトロフィーの授与や、カエデの苗の参加賞、大会運営への協力など各方面から好評のうちに大会を終えられた。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A		
評価理由	評価理由		評価理由	
参加者20,000人規模の大会を、事故無く成功することができ、宇陀の魅力を発信できた。		全国の高校生が目標とし、大会や予選を戦う中で、一人一人が将来に向けて様々な生きる力を獲得していくために必要な事業である。		高校生が積極的に活動できる大会で、次代を担う青少年の育成に有効な事業である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 評価 員 意見 から	<p>今回は平成21年のフェンシング以来6年ぶりとなるインターハイの会場地となったが、県の補助があったとはいえ、宇陀市でこれだけの大会を受け入れ、成功させたことは、担当課をはじめとして数多くのボランティアなどの支援者の活躍の賜である。</p> <p>この大会を成功させたことにより、次世代を担う人材の育成が図られただけでなく、宇陀市の魅力が広く発信されたと考える。</p>	点検評価支援員による総合評価 【 5 】
---------------------------	--	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>2万人規模の大会を大きな事故無く実施できたことは、市民の皆様の協力をはじめ、運営に関わっていただいたボランティアスタッフの力の賜であり、参加された選手・役員・スタッフ・市民の皆様へ感謝している。</p>	事業の総合評価 【 5 】
-------	--	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 生涯スポーツ活動の支援 － 近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部		所管課	生涯学習課
事業の概要	近畿高等学校生徒にスポーツの機会を与え、心身ともに健康な高等学校生徒を育成するとともに相互の親睦を図ることを目的に、農林会館周辺特設コースにおいて大会を共催した。			
目標・実績	愛好家が増えてきた自転車を使った健康づくりや競技を、宇陀市で積極的に活動できるように施策として実施する。ひいてはスポーツツーリズムによる市の活性化につなげる。			
教育委員会 自己評価 の	成果と課題			
	平成27年6月7日、宇陀市農林会館周辺特設コースにおいて、競技参加者・指導者約200人、観戦者約500人、競技役員・ボランティアは約200人の内容で熱戦が繰り広げられた。競技の間、交通規制を実施するための周辺住民への周知、誘導員の配置などに課題が残った。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A		
	評価理由	評価理由	評価理由	評価理由
	奈良県において初開催となり、ボランティアスタッフ、観戦者も多く参加いただき、宇陀市での初回大会として成功をおさめることができた。	スポーツによる地域興しや、活性化を図ることや、高校生が日頃の修練を発揮する場として、今後も継続して実施していく。		高校生が積極的に活動できる大会で、次代を担う青少年の育成に有効な事業である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見	<p>奈良県において初の開催となった近畿高等学校自転車競技大会・ロードレースの部であったが、宇陀の地と市内高校生の活躍を市内外に知らせることもなり、また、競技関係者だけでなく多くの観戦者、役員ボランティアが参加し大会として大いに盛り上がった。</p> <p>宇陀市の高校生だけでなく、小中学生・一般市民にとっても自転車競技が身近なものとなり、視野を広げることになった。</p> <p>一般道を使う競技となるので、地域周辺住民の方々への周知徹底が課題となるが、さらに安全面での配慮をしつつ、本大会が継続され、スポーツによる地域おこしにつながることを期待する。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>大会のコースとなっている地域の皆様をはじめ、ボランティアスタッフの協力をいただき、この大会が宇陀市で開催され、近畿各地の自転車競技に関わる方々に市の魅力が発信できた。より多くの方に「高等学校自転車競技と言えば宇陀」という認知が得られるよう、大会の充実を図っていきたい。</p>
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ環境の充実 － 市民スポーツ大会事業		所管課	生涯学習課				
事業の概要	広く市民にスポーツ活動を行う機会を提供し、心の健康、体力の増進と競技力の向上を目指すもので、20種の競技を実施した。							
目標・実績	広く市民にスポーツ活動を行う機会を提供し、心身の健康、体力の増強と競技力の向上を目指し、生涯を通じたスポーツ活動の振興を図る。							
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題							
	21競技 1,960人の参加が得られ、生涯スポーツの振興を図ることができた。							
	達成度	B	必要性	A				
	評価理由	平成26年度に対して、参加者は約600人増加し、多くの市民に参加いただけた。毎年、楽しみながら参加を継続いただけるよう大会を実施していく。	評価理由	参加者は、約20種類の競技から自分に合った競技種目を選択し、1,600人を超える市民に参加していただいている。健康増進にたいへん効果的である。	有効性	A	評価理由	健康の保持増進、体力の向上、余暇の充実といった精神面の健康増進、集団で参加する場合の社会性の育成も図れる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 から	<p>スポーツ庁は2020年東京五輪大会で高まるスポーツへの関心を「みる」から「する」に変えるため、スポーツ環境を整備したいと提言しているが、スポーツに親しんでいる人にとって、日ごろの成果を試す機会があるということは、楽しみながら運動する以上に目的意識をもって取り組めることになる。</p> <p>そのことが肉体的な健康増進に効果的であるだけでなく、精神面の健康増進、集団で参加する場合の社会性の育成も図れると考えられるので、さらなる大会参加を促されたい。</p>	点検評価支援員による総合評価 【 2 】
-----------------------------------	--	----------------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の 方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>生涯スポーツの実践の場として、市体育協会と連携しながら今後も大会を実施する。各種のスポーツに目的をもって取り組みたい、または気軽にスポーツを楽しみたい等の多様な思いをもつ参加者の誰もが親しめる大会となるよう努めていく。</p>	事業の総合評価 【 1 】
-------------------	--	---------------

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ環境の充実 — 総合体育館・総合運動場運営事業			所管課	総合体育館	
事業の概要	市民のスポーツとレクリエーションの振興を図るとともに健康増進を推進し、体育館・運動場の効率的な管理運営を行い、安全で快適に利用いただけるように努める。					
目標・実績	体育施設の整備充実と健全な管理運営に努めるとともに、利用促進を図る。					
		26年度	27年度	増減率		
	体育館利用者数	42,070 人	75,521 人	179.5%		
	グラウンド利用者数	9,147 人	8,572 人	93.7%		
	合計	51,217 人	84,093 人	164.2%		
教育自己 委員会 の 評価	成果と課題 ・体育施設の整備充実と健全な管理運営に努めた。					
	達成度	B	必要性	B	有効性	B
	評価理由	評価理由		評価理由		
	高校総体(空手)の開催により利用者が増加した。	大きな大会や集会を行う施設として利用度が高い。		スポーツ振興と体力づくりの施設として、また、イベントや集会等の多目的利用施設として市民からの評価が高い。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	<p>人員削減による限られたスタッフ数で、休館日にも開館するなど、市民や多くの団体の要請に応じて対応されている。今後、ますますウエルネスシティとして健康増進を図るための、あるいは文化的行事が行える大きな施設として、単発的なイベントだけではなく市民が積極的に参加できるスポーツ施設としてその役割を果たされることを期待する。また、利用者のニーズに応じ、室内外の体育施設の適切かつ有効な管理・運営をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
---------------------------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>限られた予算と人員の中で創意工夫しながら、今後も利用者ニーズに応えられるような施設の管理・運営に努めていく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
---------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 スポーツ環境の充実 － 室内温水プール及びテニスコート管理運営事業			所管課	総合体育館	
事業の概要	市民のスポーツとレクリエーションの振興を図るとともに健康増進を推進し、室内温水プール及びテニスコートの効率的な管理運営を行い、安全で快適に利用いただけるように努める。					
目標・実績	水泳やテニスを通してスポーツ振興と健康の増進を図り、効率的な管理運営と利用者の増加を進める。					
		26年度	27年度	増減率		
	プール利用者数	38,915 人	40,762 人	104.7%		
	テニス利用者数	5,689 人	5,651 人	99.3%		
	合計	44,604 人	46,413 人	104.1%		
教育自己評価委員会の	成果と課題					
	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した施設設備等の一部を改修した。 ・施設の長寿命化のためにも今後も年次的な改修が必要である。 ・小中学校の水泳授業としても使用している。 					
	達成度	B	必要性	B	有効性	B
	評価理由	評価理由		評価理由		
	設備の一部を改修したことにより、安心・安全な利用が期待できる。プールの利用者が増加した。	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳を通しての健康や体力づくりに利用度が高い。 ・小中学校の体育の水泳授業に使用している。 		幼児・小学生等の水泳技能向上や市民の健康と体力づくりに貢献している。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>スポーツ振興や健康増進を目的とする体育施設の充実、とりわけ児童生徒の水泳授業が安全安心な環境の中でできるよう、常時、安全対策や機械設備の点検改修が行われている。海や川のない宇陀市の子どもたちにとって、年間を通じて水泳が楽しめるプールは、魅力ある存在なので、さらに安全で有意義な事業の展開を期待する。そのための施設設備の改修も計画性をもって進められるべきである。浮力を利用した水中運動は、足腰への負担が少なく、効果的な筋肉運動となるので、さらに利用促進のための広報活動をされたい。</p>
	<p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p> <p style="text-align: right;">総合評価は、利用率向上のための計画策定を望む見地からの抜本的見直しである。</p>

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>今後も利用者が快適で安全な利用ができるよう年次的・計画的な改修を行い、快適な利用環境を提供することにより、利用者の増加に努める。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 文化財保存修理等補助事業		所管課	文化財課		
事業の概要	国・県・市指定文化財(以下、「指定文化財」という。)の所有者(個人・宗教法人)が行う防災設備点検等経費の負担軽減、所有者が行う建造物等の保存修理経費の負担軽減、所有者が行う環境整備(草刈、庭木の剪定)経費の負担軽減、また市指定民俗文化財を維持傳承していくため、後継者を育成するための経費等の負担軽減を図るため、これら文化財保護に関して補助金を交付する。					
目標・実績	指定文化財の保存修理、防災設備点検等、環境整備、民俗文化財傳承の実施に対して補助金の交付を行う。 (平成27年度 保存修理 1件・防災設備点検等 9件・環境整備 2件・民俗文化財傳承事業 4件)					
教育委員会 自己評価	成果と課題 指定文化財の保護・管理等の諸事業の実施により、適切な状態に保たれている。点検等により不具合が発見されれば修理を行い、毎年の防災設備の点検等は消防法の規定に基づき実施され、機器等は良好に作動している。今後も、指定文化財の適切な保護・管理を行っていくため、国、県、所有者と連携しながら継続していく。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	所有者とともに指定文化財の適切な保護・管理等ができた。	評価理由 指定文化財は、その重要性に鑑み、適切な管理を行うために様々な法的規制があり、指定文化財の保護・管理を適正かつ円滑に実施するには、特別な経費を要する。事業実施にあたり、所有者の負担軽減を図ることは、文化財の保護に貢献する。	評価理由 指定文化財の適切な保護・管理が実施でき、貴重な文化財を後世に伝えていくことができる。		

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の評価員から	指定文化財は適切に保護されるだけでなく、後世にきちんと傳承されなくてはならない。そのためにも、所有者の管理に対して、市として負担軽減を図ることは必要である。市民に理解を求めつつ、後継者を育成し保護管理が行われることが望まれる。 点検評価支援員による総合評価 【 2 】
----------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 文化財の保護・管理の適切な実施、防災設備の設置、点検等については負担軽減を図り、所有者に助言等を行い、文化財の保護と後世への傳承に努める。 事業の総合評価 【 2 】
-------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 － 薬の館管理運営業務		所管課	文化財課
事業の概要	市民の歴史・文化意識の向上を図るとともに、伝統的建造物に対する理解を深めることを目的とし、内部公開を兼ねた展示施設『宇陀市歴史文化館「薬の館」(宇陀市指定文化財)』の管理・運営を行っている。 建物の公開・管理・運営等が主な業務で、シルバー人材センターに管理委託している。建物の修理等は文化財課が実施している。			
目標・実績	松山地区の代表的な商家町屋で、薬関係の展示施設となっており来館者が多く訪れる。生涯学習の教材として小学校等の授業にも活用されている。宇陀松山の歴史を学ぶ施設、伝統的な空間を体感できる施設として、より一層、展示内容の充実と来館者数の増加に努めていく。 薬の館(旧細川家住宅)は、江戸時代末期の建築と推定される。細川家は薬問屋であり、薬商として「人参五臓園」「天寿丸」という腹薬を販売。館内では薬関係の資料を中心に展示し、有料で公開{入館料大人300円小人150円(団体 大人200円小人100円)}。平成27年度の入館者数は、2,820人。			
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 月・火の休館日においても、視察団体等の予約が入れば特別開館し、来館者数の確保に取り組んでいる。 平成27年度の入館者は、平成26年度より増加した。 今後は、入館者数を増やすための展示替え等のイベントが必要であると感じている。			
	達成度	A	必要性	A
	有効性	A	評価理由	評価理由
	多くの方々が来館し、見学していただいたが、ここ数年入館者数が減少していた。	当施設は、重要伝統的建造物群保存地区内にある伝統的建造物でもある。歴史を学ぶ施設、伝統的な空間を体感できる施設は少なく、公開する必要がある。	多くの方々が来館し、当館の薬の歴史を学んだ。必要に応じて管理人が館内の案内や説明を行い、理解を深めてもらっている。また、他市町村等からの視察や市行事での施設見学会も行っている。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	<p>歴史文化館「薬の館」は松山地区の代表的な商家町屋として薬関係の資料を展示している貴重な指定文化財である。有料で公開されているが、ここ数年入館者数が減少していたとのことなので、さらに内部の歴史的意義等を周知し、見学することのメリットをアピールするなどして見学者数の増加を図られたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
---------------------------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の 方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>近隣には森野旧薬園もあることから、薬草等を題材にしたり旧藤沢薬品関連等の企画展の開催に取り組み、見学者数の増加を図る。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 重要伝統的建造物群保存地区保存事業		所管課	文化財課		
事業の概要	<p>周囲の環境と一体をなして歴史的な風致を形成している伝統的な建造物群を「伝統的建造物群保存地区」、国は特にその価値が高いとして宇陀松山地区を奈良県で2番目の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定した。国選定は平成18年7月5日・指定面積17ha・保存事業期間 平成18年度～</p> <p>歴史的街なみの特性を維持回復するため、地区内の伝統的建造物の修理・それ以外の建造物の修景に対して補助金の交付を行い、防災施設等の整備も行う事業である。</p>					
目標・実績	<p>歴史的風致を構成する要素である伝統的建造物の中でも「特定物件(所有者の保存同意を得た伝統的建造物)」を増やすことが必要不可欠であり、また、伝統的建造物以外の建物の修景も景観の保全には必要である。これらの修理・修景補助の件数を増やし、歴史的な街なみを保全する。また、伝建地区の安心・安全を図る防災計画の策定業務を発注し、松山地区の現況測量とアンケート調査を実施した。</p> <p>平成27年度の実績は、特定物件の修理6件、修景1件。</p>					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題					
	<p>特定物件(伝統的建造物)は所有者の同意が必要であることから、町家の修理事業と同時に特定物件指定を受ける所有者が増えている。修理事業の相談時に所有者へ特定物件指定を働きかけることにより事業推進が図れた。今後は、防災計画策定に向け、松山地区住民による防災計画策定検討会を開催する必要がある。</p>					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由		評価理由		評価理由	
	町家の修理・修景事業は予定通り完了できた。防災計画策定のための業務委託を行った。		修理・修景が必要な物件の数は多く、歴史的景観の保全には町家の回復が必要不可欠である。老朽化した町家は、修理により安全・安心な住居となり、生活環境の向上が図れている。木造建築物が多くを占める地区には、防災計画が必要である。		「街なみの景観が良い」と来訪者も増えてきており、メディアの取材や行政視察も相次ぎ、今後の集客にも期待ができる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検の主な意見から	<p>伝統的建造物群に係る商家町屋の修理修景等の保存保全事業により、宇陀松山夢街道や華小路もより一層鮮やかになり、保存地区の景観が良くなっていることを高く評価したい。奈良県において2番目に「重要伝統的建造物群保存地区」として指定を受けた宇陀松山地区の歴史的景観を保全することは、市としての責務である。地域住民の理解の上で、事業推進が展開されるよう努めていただきたい。</p> <p>また、防災計画を速やかに策定されたい。</p>
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>町家の修理・修景を積極的に行うために所有者等へ啓発を行い、事業の進捗率の向上を図り、街なみ保全に重要な防災計画の策定を行う。</p>
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 埋蔵文化財発掘調査事業		所管課	文化財課
事業の概要	市内遺跡の発掘調査、個人の開発行為に先立つ事前の発掘調査、遺跡保存を目的とした範囲確認調査、過年度に実施した発掘調査の調査成果整理、市内遺跡の分布調査、出土遺物保存処理、公共工事に伴う事前の発掘調査等を実施し、埋蔵文化財の保護対策を講じる。			
目標・実績	遺跡の発掘調査を行い、保護対策を講じるとともに記録を行い、後世に郷土の歴史を伝える。 下城・馬場遺跡では個人の開発行為に先立つ発掘調査と保存のための発掘調査を行い、遺物整理作業(整理箱8箱)を実施、また、8次調査の調査成果整理、出土遺物の金属製品(鉄釘)の保存処理(20点)を行った。市内の大型古墳である不動塚古墳群の分布調査も実施した。			
教育自己評価委員会の	成果と課題			
	発掘調査により貴重な埋蔵文化財(遺跡)の保護対策(遺跡の記録・遺物整理等)を講じることができた。 市内には、未調査の埋蔵文化財が多数あり、今後も計画的な発掘調査が必要である。			
	達成度	A	必要性	A
	評価理由		評価理由	
	下城・馬場遺跡から多くの遺物が出土し、出土遺物の整理作業等を行い記録を残すことができた。		発掘調査により出土した埋蔵文化財は、郷土の歴史や生活環境を知る上で重要な史料となる。	埋蔵文化財(遺跡)の保存・整理は、郷土の歴史を後世に伝える重要な業務である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の主な意見から	<p>遺跡の発掘や保存、出土品の収集・整理を適切・的確に行うには時間を要し、また緻密な作業となるが、新しい発見とともに埋蔵文化財を後世に伝承し保存することは、今を生きる者の使命である。市内にはまだまだ未調査の埋蔵文化財が多数あり、今後も計画的な発掘調査が必要であるので、計画性をもって実施し、郷土の歴史を後世に伝える重要な業務として進められたい。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
--------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>市内には未発掘調査の遺跡が多数ある。今後も発掘調査を計画的に進め、発掘調査状況も広報等で市民に周知し、郷土の歴史を後世に伝えていく。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 国重要文化財・片岡家文書調査事業		所管課	文化財課		
事業の概要	国指定重要文化財の片岡家住宅に伝わる文書(史料)類は、「大宇陀町史」編纂時にその一部が調査され、室町時代・江戸時代以降の当該地域の歴史を考える上において重要な史料であることが判明した。片岡家に所蔵されている文書は約1万点を数え、これら文書の詳細な調査を行い、整理した上で次代へ引き継げるようにする。					
目標・実績	片岡家に伝わる約1万点以上の文書(史料)を詳細調査し、全ての文書を写真撮影するなどの記録・整理を継続して行い、調査結果は「片岡家文書調査報告書」として取りまとめ、宇陀市の1級資料とし定期的に一般公開を行い、宇陀市の活性化に資することを目的とする。 当該文書調査の詳細調査については、文化庁、奈良県教育委員会、片岡家文書調査指導委員会の指導を得て実施し、4年間におよぶ調査を完了、片岡家文書調査報告書を作成した。					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題					
	片岡家に伝わる文書は4年間で1万3千点に及び中世から近世における宇陀地域の支配者の支配状況等の確認が可能となった。平成27年度は文書の台帳となる「片岡家文書調査報告書」を作成した。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	調査の整理・記録作業が順調に進み、平成27年度末に調査報告書を作成した。	評価理由	片岡家は、中世・室町時代から連続と続く旧家であり、受け継がれてきた各種文書の調査により、宇陀地域の詳細な歴史を確認することができる。	評価理由	文書により近世における地方自治の状況も明らかになってきた。県指定文化財の指定が可能である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の 主な意見 から	20代500年の歴史を持つ片岡家所蔵の文書調査・資料整理は、膨大かつ詳細な作業を要する。平成24年からの4か年計画の事業であり、随時、公開展示や広報等でその様子が周知されてきている。文書の台帳となる「片岡家文書調査報告書」の作成が終わったが、今後はこれらの文書の詳細な調査を行い、整理し、宇陀地域の詳細な歴史を確認する根拠としていただきたい。 さらには、まだまだ個人所有されているであろう文書類の発見にも努め、貴重な資料が埋もれることなく後世に伝わるよう努力されたい。
	点検評価支援員による総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 平成27年度にて調査が完了したため、市民に向けて調査報告の展示や講演会を実施する。片岡家文書が貴重な史料であることの啓発を行う。
	事業の総合評価 【 2 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 街なみ環境整備事業				所管課	文化財課
事業の概要	<p>松山地区の「松山らしさ」の再確認と新たな展開に向けて、「伝統的な街なみ」や「伝統的な暮らし」に着目するまちづくりを進め、総合的なまち活力の再生を図る。</p> <p>平成13年度より32年度までの20年間で、歴史的な街なみの骨格となる道路を中心に、地区内(約35ha)の生活環境施設、公園、防災施設、修景補助等の事業により、歴史的、生活的、自然的な環境を生かし、住民の発意と創意に基づく街なみの形成を目的とする。</p>					
目標・実績	<p>松山地区の特性に応じた個性的で質の高いまちづくりとするため、道路と電柱の美装化・街路灯整備・公園整備・生活環境施設整備・防火施設整備等の住環境の整備改善を行う。</p> <p>(宇陀市大宇陀松山地区 整備区域面積 35ha) 平成27年度は松山通り道路美装化工事 工事延長L=310 m を実施。</p>					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題					
	<p>街なみ環境整備事業により、横断電線類の地中化、道路の美装化工事により、質の高い古い街なみを形成することができてきた。</p> <p>松山地区の主要道路である松山通り道路美装化工事により、街なみ景観の改善ができたが、工事施工中の通行止めでは地域住民や来訪者に配慮した方策も考慮しながら進めなければならない。</p>					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
評価理由	松山通りは狭隘な主要道路であるが、地元住民の協力により事業実施することができた。		評価理由 横断電線の地中化と道路の美装工事は、松山地区の個性的で質の高いまちづくりに必要である。		評価理由 道路を中心に、地区内の美装化が進み、歴史的な街なみ環境を生かした、住民の発意と創意に基づく街なみを形成することができる。	

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員からの 主な意見	<p>国庫補助の減少に伴い、財源確保が困難な中で、地元住民の協力を得ながら歴史的な街なみとして、環境が整備保全されている。年次にわたる道路や側溝、電柱、街路灯等の整備に伴い、松山通りや歴史的な観光スポットやシンボルが随所で修理修景され、街なみの景観価値が上がっていると感じる。来訪者にとって魅力ある見学地になりつつある。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
------------------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>整備事業の中心となる道路美装化工事を推進し、重伝建事業の進捗とともに、来訪者の満足度を高められるよう整備を推進する。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-------	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 史跡宇陀松山城跡保存整備事業		所管課	文化財課		
事業の概要	<p>宇陀松山城は、豊臣政権のもとで、大和郡山城・高取城と並ぶ大和支配の拠点として誕生した。残念ながら城は、30年という短い期間でその役割を終えた。宇陀松山城跡の特徴として、城郭全域にわたって城割(しろわり)を受けていることが挙げられる。現在、地表観察等で確認できる城跡の状況は、城割後の姿であり城郭構造を詳細には反映していない。</p> <p>宇陀松山城跡の史跡指定地は67,667㎡であり、そのうち総石垣づくりの中心郭部分22,450㎡の公有地化を実施している。整備範囲は公有地化を行った範囲を中心に城跡への登城道部分を対象とする。</p>					
目標・実績	<p>宇陀松山城跡の特徴として城割を受けていることが挙げられ、遺構内容・城割の状況と範囲・石垣等の崩落箇所の保全・修復等の関係を十分に検討しながら保存整備と登城路整備を進めている。</p> <p>平成27年度は、工食用資材搬入路(登城道)予定地の発掘調査、本丸・南西虎口部・南東虎口部で実施した発掘調査(1次・2次・4次・5次調査)の資料整理、遺物整理を行った。</p> <p>今後も不安定部分の保護・保全の方法、石垣の露出方法を十分検討し、天守周辺部と本丸跡の整備を行う計画である。城跡麓までの登城路整備事業の用地買収を完了した。</p>					
教育委員会 自己評価 の 評価	成果と課題					
	<p>宇陀松山城跡を宇陀市のシンボルとして位置づけ、重要伝統的建造物群保存地区に選定された松山地区である城下町と宇陀松山城跡を一体的に整備し、歴史資源として観光施策との連携を図り、集客交流施策に積極的に取り組んでいる。整備途上であるため、来訪者に不便をかけているが、年次的な整備に取り組んでいるところである。また、城跡麓までの登城路整備工事に一部着手した。</p>					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	文化庁・奈良県教育委員会・専門家などからの意見をもとに作成した整備計画に、年次的に取り組んでいる。	評価理由	宇陀松山城跡は、宇陀市のシンボルとして位置づけられており、重要伝統的建造物群保存地区に選定された松山地区の城下町と一体的に整備する。	評価理由	松山重要伝統的建造物群保存地区と一体的に整備し、歴史資源として観光施策との連携を行い、より多くの集客を図っていくことができる。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 から	<p>松山城跡を、重要伝統的建造物群保存地区に選定された松山地区の城下町と一体的に整備することにより、市のシンボルとして位置づけ、観光資源としての活用を図ることができる。また、当事業は中世の山城から近世の城郭を知る上で欠かせない事業である。</p> <p>城跡麓までの登城路整備事業の用地買収が完了したということで、今後住民や来訪者に不便をかけることになるが、理解を求めながら整備を計画的に進められたい。</p>	<p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 1 】</p>
-----------------------------------	--	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>城跡の整備は、登城路整備事業が完了すれば材料等の運搬が容易になり、保存整備事業を飛躍的に進捗することができるようになる。早期に来訪者が訪れやすい観光資源としての活用を図る。</p>	<p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 1 】</p>
---------------	---	---

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 史跡森野旧薬園保護事業			所管課	文化財課	
事業の概要	寛保3年(1743年)幕府から官園において栽培していた種苗を下付けされた薬草等を植えたことにより薬園が始まる。大正15年には、国史跡に指定され史跡地内の桃岳庵や石水亭などの建造物も遺存し、古くから地域に自生していた有用植物が生育し、生態学的な価値も高く薬園としての旧態が良く保たれている。 しかし、近年は環境悪化が進み建造物は老朽化による傷みも著しく、また、獣害による植物の衰退、近縁種との交雑による種の消失等の荒廃が進行しつつある。江戸時代から引き継がれてきた当園の適切な保存・管理を行うため、保存管理計画を策定し保存事業を実施する。					
目標・実績	国史跡森野旧薬園が有する特徴や価値を良好な形で維持するために、旧薬園の沿革・既往調査資料・現状調査により、旧薬園がもつ本質的価値を明らかにし、保存管理計画を策定する。 旧薬園内の既往調査資料の整理など文献調査と現地踏査による現状の把握、史跡指定範囲の敷地測量を実施し、保存管理計画案の作成までできた。					
教育委員会 自己評価 の	成果と課題 旧薬園の既往調査資料の整理、現地踏査により旧薬園の施設管理や薬草管理等の問題点が、保存管理計画の基礎調査により分かってきた。 適正管理は森野旧薬園だけではなく、行政や地域住民等がどのようにに関わり保存・管理を進められるかが課題である。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	旧薬園の現地踏査により、保存管理計画の基礎調査ができ、保存計画案も作成できた。		評価理由	旧薬園を良好な状態で維持するためには、計画的な管理を行うための保存管理計画が必要である。	
	評価理由	旧薬園は松山重伝建地区内に位置し、観光客が有料にて見学できる施設であり、環境整備することにより観光スポットとしてさらに来園者が増えることを期待できる。				

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検 の 主 な 意 見 か ら	<p>現存する日本最古の私立植物園で、生態学的にも価値の高い薬園として江戸時代から引き継がれてきた当園の適切な保存管理は、計画案にのっとり進められるべきである。所有者だけでなく地域住民等も一緒に保存・管理をすることで、観光スポットとしてもさらに活用されることになると考える。</p> <p style="text-align: right;">点検評価支援員による総合評価 【 2 】</p>
---------------------------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後 の 方 針	<p>〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉</p> <p>森野旧薬園保存管理計画策定後は、管理計画に基づき施設の保存整備や薬草の保護等に努める。</p> <p style="text-align: right;">事業の総合評価 【 2 】</p>
-------------------	--

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

事業名	〈宇陀市総合計画に基づく主な施策・事業〉 歴史・文化資源の保全と活用 — 国指定天然記念物等保護再生事業		所管課	文化財課		
事業の概要	宇陀市内には多くの国指定天然記念物が存在し、これらを後世に伝えるためにも危機に瀕している天然記念物を保護し、再生を図る必要がある。 向淵スズラン自生群落は、自生地が南限地として国に指定されているが、自生地内にドイツスズランが繁殖し、日本固有種のスズランが衰退しかけている。また、特別天然記念物オオサンショウウオは、宇陀市室生の河川に生息していることが近年確認されたが、全国的に生態系が解明されていないことから、まず棲息状況確認とチュウゴクオオサンショウウオとの交雑化を確認記録し、日本固有種の保護が急務となっている。					
目標・実績	向淵スズラン自生群落は、天然記念物に指定された昭和5年頃は、自生地周辺の雑木も家庭での薪として使用されてきたが、時代の変遷により使われなくなり、杉・檜の植林による林地転換されたことによる日照不足や下草刈りの減少等によりスズランが減少してしまっている。平成8・9年の原因調査では約5,500株であったが、その後、年2回の下草刈りの実施等により、平成23年では約36,000株まで回復した。 オオサンショウウオは、現在室生ダムより下流の室生川、大野川、深谷川等で生息が確認されている。平成24年度に三重県教育委員会・奈良県教育委員会が策定した「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針」に基づき保護調査を実施している。					
教育委員会 自己評価	成果と課題 スズランは、これまでの観察と管理や地域住民への現地指導等も行い、約38,500株が生育し増加してきている。今後も定型な管理や外来種であるドイツスズランの混在が確認されれば、その都度除去する必要がある。 オオサンショウウオは、宇陀市内で約160個体が捕獲され、DNA鑑定により3個体の交雑種が確認されている。今後も生息調査等を継続し、日本固有種の保護を図る必要がある。					
	達成度	A	必要性	A	有効性	A
	評価理由	天然記念物への保護対策により、日本固有種の保護ができてきた。	評価理由	外来種等は繁殖力も強く、日本固有種が減衰する要因ともなっている。外来種を排除することは、必要な措置である。	評価理由	宇陀市内の天然記念物を保護することは、後世への継承となり、重要な業務である。

※達成度・必要性・有効性は右記から選択してください。「A」高い、「B」やや高い、「C」やや低い、「D」低い

点検評価員の 主な意見	市内に自生・生息する数多くの国指定特別天然記念物の保護・再生は、貴重で価値のある活動である。繁殖力の強い外来種を除去し、日本固有種を保護し、後世に継承していかなければならない。市民とともに観察や管理、生態調査等を進め、保護の必要性を認識させる必要がある。本事業のこれからの成果に期待したい。
	点検評価支援員による総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

今後の方針	〈施策の課題や点検評価員の意見をふまえた方向性〉 天然記念物の保護再生には継続的な調査と保護活動が必要である。今後も外来種の排除を中心に調査等を行い、保護再生に努める。
	事業の総合評価 【 1 】

※総合評価 「1」拡充、「2」継続、「3」縮小、「4」抜本的な見直し、「5」終結

5 まとめ（今後の課題と方向性）

宇陀市教育委員会では、平成 27 年 4 月 1 日から「地方教育行政の組織の運営に関する法律」の改正に伴い新教育委員会制度に移行いたしました。これにより市長が教育長を任命することとなり、その任命責任と教育委員会を代表する教育長の責任を明確にいたしました。さらに市長と教育委員会が協議及び調整する場として総合教育会議を設置し、より一層民意を反映させた教育行政の推進を図っているところです。

平成 27 年度の総合教育会議においては、宇陀市の素晴らしい自然環境、地域の教育力、伝統文化を活かした教育について議論を重ね、平成 28 年 3 月にその目指すべき教育を「宇陀市教育大綱」としてまとめました。この大綱に基づく 4 つの基本目標（1.「確かな学力・豊かな人間性・健やかな心身」を基本に、自己実現のために真摯に研鑽する教育を目指す 2.誰もが楽しく学べるために、教育環境の中長期的な展望を描きつつ、社会全体で子育てや家庭の教育力を高めることを目指す 3.社会の一員として義務と責任を果たし、自他の尊厳を尊重し、地域社会の発展に寄与する人間づくりを目指す 4.郷土の歴史や伝統文化に親しみ、地域の産業の振興を通して、持続可能な社会づくりのための人材育成を目指す）とそれらを推進するための 5 つの基本方針（1.確かな学力・規範意識・体力の向上 2.夢を育む教育環境づくり 3.地域全体で子育てを 4.人権文化の創造 5.郷土を誇り郷土を愛する人材づくり）に沿った課題に、平成 28 年度から 4 年を目途に取り組んでまいります。

また、宇陀市教育委員会では、教育行政のさらなる充実を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、ここに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書」（平成 27 年度施策・実施事業分）をまとめました。平成 27 年度に執行した教育委員会の主な事務事業を宇陀市総合計画に基づく基本計画の項目ごとに分類し、目標の達成状況・進捗状況について宇陀市教育行政支援員の意見を踏まえながら点検・評価を行い、とりまとめました本報告書を議会に提出いたします。

最後に、今後の宇陀市教育委員会の方向性として、宇陀市教育大綱にある『子どもたちの「生きる力」と「夢」を育むために、自己の可能性を追求し、すみよい地域社会の一員としての役割を果たし、お互いを尊重しあえる豊かな人間性を育む』施策の展開にまい進していく所存です。